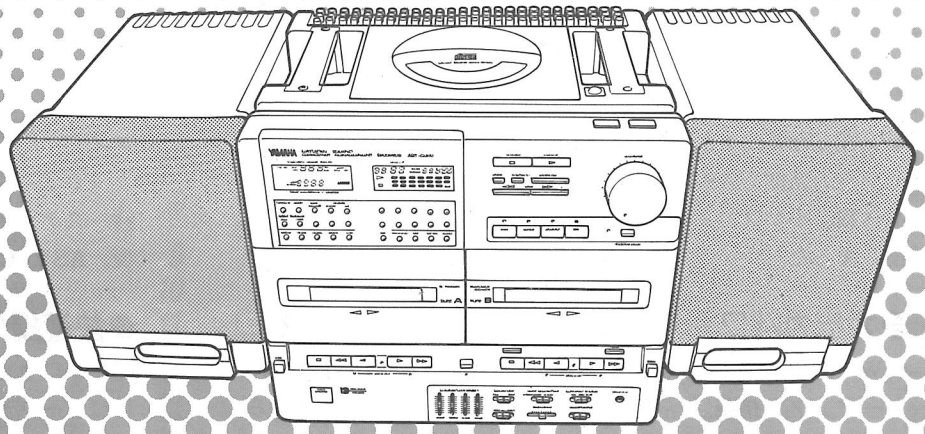
Active Servo Technology

NATURAL SOUND COMPACT COMPONENT SYSTEM

AST-C20/C10

取扱説明書



このたびは、ヤマハ・コンパクトコンポーネントシステムAST-C20/C10をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。
AST-C20/C10の優れた性能を充分に発揮させ、末永くお使いいただくために、この取扱説明書をご使用の前に、ぜひお読みくださいますようお願いいたします。またお読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

YAMAHA

Active Servo Technology

ASTシステムとは

AST(Active Servo Technology)システムは、スピーカーユニットの動作を直接制御して、駆動力や制御力を大幅に向上させるアクティブサーボプロセシングアンプと、特殊なチューニングを施したエンクロージャーをもつアクティブサーボプロセシングスピーカーにより、コンパクトなサイズからは想像できない程の豊かな低域とフラットな再生特性を実現した全く新しいシステムです。

特長

●新開発ASTシステム

ヤマハの新開発AST(Active Servo Technology)システムを搭載。小型スピーカーによる、フラットな超低音再生を実現しました。

●大出力パワーアンプ

50W＋50W(AST-C20)、35W＋35W(AST-C10)の大出力パワーアンプを搭載。ハイパワーとASTシステムから生まれるサウンドは、コンパクトなボディからは想像できない程の迫力と、ミュージックソースのニュアンスを徹底的に再現します。

●30局メモリーのデジタルチューナー

FM、AM、TV(VHF、UHF)放送をそれぞれ10局、合計30局のプリセット予約ができ、リモコンによるダイレクト選局が可能な、高性能デジタルシンセサイザーチューナーを搭載しました。

●多彩な演奏が楽しめるCDプレーヤー

プログラム演奏、スキップ、サーチ、イントロスキャン、リピートなど、8cmシングルディスクにも対応する多機能CDプレーヤーを搭載。さらに、20曲ミュージックカレンダーやダイレクト選曲等、CDを存分にお楽しみいただけます。

●オートリバースのダブルカセットデッキ

フルロジックコントロール、再生／録・再生ダブルオートリバースデッキ搭載。CDリプレイ録音など多彩なプレイを実現。AST-C20では、イコライザー録音も可能です。

●快適操作のリモコン標準装備

10キーによるチューナーやCDのワンタッチ選局／選曲、さらにテープや外部入力の操作を始め、電源のON、OFFや電動ボリュームによる音量調整など、快適多機能リモコンを標準装備しています。

●スペース感覚のボディ

多彩な機能を秘めたボディはコックピットを連想させ、スペース感覚に溢れています。

AST-C20とAST-C10の主な相違点

この取扱説明書では、AST-C20とAST-C10の取扱い方法を説明しておりますが、本文中の

★マークは、AST-C20のみの機能を、

☆マークは、AST-C10のみの機能を説明しています。

なお、説明用のイラストは全て、AST-C20で表示してあります。

目次

主な操作手順 …… 3

1 ご使用になる前に …… 5
- ご使用上の注意 …… 5
- 付属品を確認してください …… 6
- スピーカーの取り付けと取り外しかた …… 6

2 接続のしかた …… 7
- アンテナの接続 …… 7
- スピーカーシステムの接続 …… 8
- 外部機器の接続 …… 8
- CD出力端子について(★AST-C20) …… 8
- 電源コードの接続 …… 8

3 各部の名称とはたらき …… 9
- チューナーおよびアンプ部 …… 9
- タイマー部 …… 10
- CDプレーヤー部 …… 11
- カセットデッキ部 …… 12
- リアパネル部 …… 13
- 停電すると …… 13

4 音量や音質を調整するには …… 14
- 音量を調整するには …… 14
- リモコンでの音量調整 …… 14
- 音質を調整するには …… 14
- 小音量で聞くとき …… 14
- ヘッドホンで聞くには …… 14

5 リモコンの使い方 …… 15
- リモコンを使う前に …… 15
- リモコンの操作 …… 15
- リモコンについてのご注意 …… 16

6 ラジオ放送やテレビ音声を聞くには …… 17
- オート(自動)選局のしかた …… 17
- プリセット選局のしかた …… 19
  - プログラムのしかた …… 19
  - プリセット選局のしかた …… 21
  - FMステレオ放送を聞くには …… 22
  - テレビの音声多重放送を聞くには …… 22

7 CDを演奏するには …… 23
- 演奏と基本操作 …… 23
- 聞きたい曲を聞きたい順に記憶させて聞く(プログラム演奏) …… 25
- 曲を早聞きしながら聞きたいところを探すには(サーチ選曲) …… 27
- 聞きたい曲の頭から聞く(スキップ選曲) …… 27
- 聞きたい曲から聞く(ダイレクト選曲) …… 28
- 繰り返して聞く(リピート演奏) …… 28
- 各曲のイントロを自動的に聞く(イントロ演奏) …… 29
- イントロ演奏しながらプログラム選曲するには(イントロプログラム選曲) …… 29
- ディスプレイの表示について …… 30

8 テープの再生 …… 31
- テープの再生 …… 31
- 曲の頭出しをするには(頭出し再生) …… 33
- テープを早く巻き取るには …… 33
- リバースモードと連続再生のしかた …… 34

9 録音のしかた …… 35
- テレビまたはFM/AM放送の録音 …… 35
- CDから録音するには …… 37
  - CDリプレイ録音について …… 38
- 外部機器の録音 …… 39
- EQ RECについて(★AST-C20) …… 40

10 テープ編集(ダビング)のしかた …… 41
- テープ編集(ダビングのしかた) …… 41
- 録音用と再生用に、長さの違うテープを使うと …… 41
- TAPE AとTAPE Bに違う種類のテープを入れると …… 41

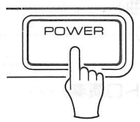
11 タイマーの使い方 …… 43
- 現在時刻のセット …… 43
- スリープタイマー …… 44
- 目覚し再生(タイマー演奏)や留守録音のしかた …… 45

12 ご参考に …… 47
- CD(コンパクトディスク)の取り扱いかた …… 47
- カセットテープについて …… 48
- デッキ部のお手入れ …… 48
- 著作権について …… 48

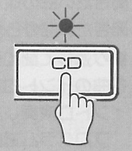
13 故障かなと思ったら …… 49
- 参考仕様 …… 50
- ヤマハホットラインサービスネットワーク …… 51

主な操作手順

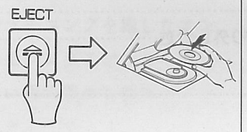
1 電源を入れる



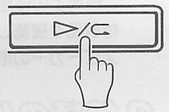
2 CDを聞くとき



3 ディスクを入れる



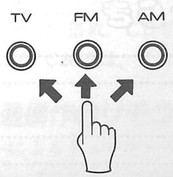
4 演奏開始



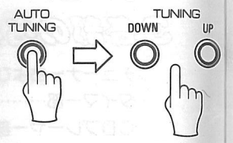
プログラム演奏のしかたは
☞25ページをご覧ください。

放送を聞くとき

バンドを選ぶ



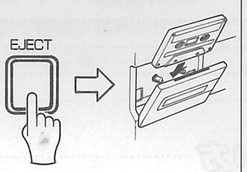
選　局



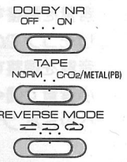
プリセット選局のしかたは
☞19ページをご覧ください。

テープを聞くとき

テープを入れる

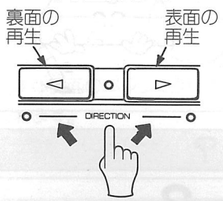


次のスイッチをセットする



くわしくは☞31ページをご覧ください。

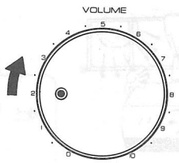
5 再生開始



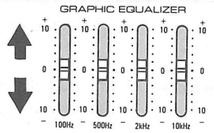
外部機器を聞くとき

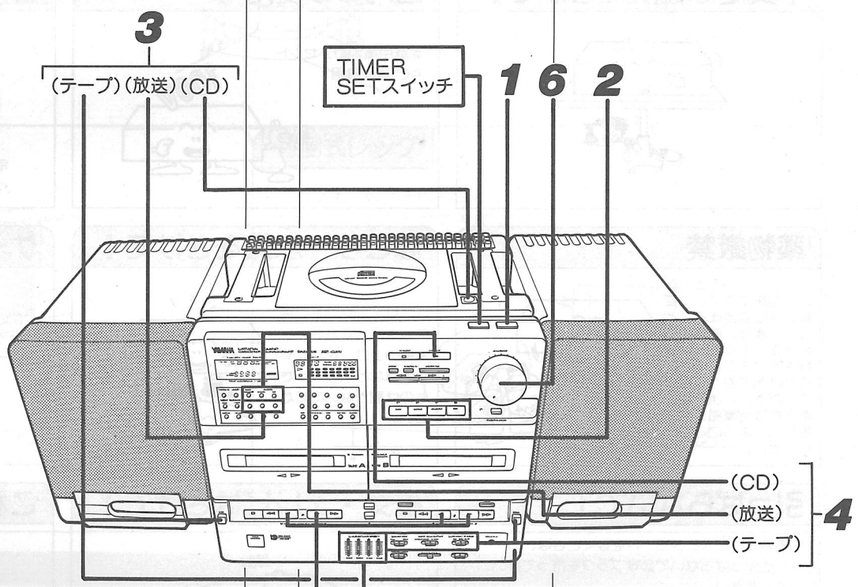
外部機器を再生

6 音量を調整



7 音質を調整



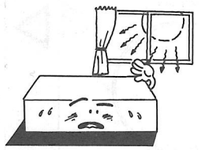


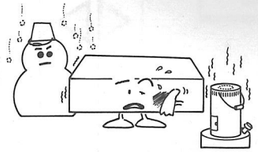
1 ご使用になる前に

使用上のご注意

高温・低温はさけて！

次のような場所への設置はさけてください。
- 温度の極端に高い場所（周囲温度40℃以上）窓際や直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど。
- 温度の極端に低い場所（周囲温度－5℃以下）
- 湿度の高い場所（湿度90%以上）



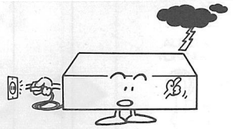


不安定な場所をさけて！

国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V専用

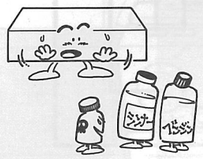
雷が近づいたら



早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

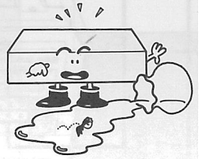
薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色することがあります。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分に付着しないようにご使用ください。



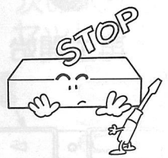
ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。



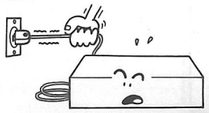
ケースを開けないで！

内部に手を入れると危険です。ケースは開けないでください。

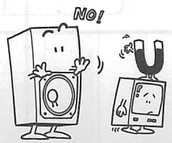


引っぱらないで！

電源コード・ピンコードを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。



磁気・テレビはさけて！



こわれた？

49ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

セット上面の通風孔をふさがない

放熱を妨げないよう、セット上面の通風孔の上に敷き物や、コンパクトディスクなどを絶対に置かないでください。

付属品を確認してください

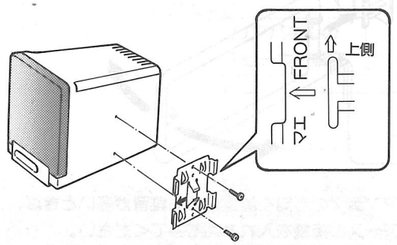
（AST-C20/C10に付属）
- リモコン（VH15910）……1台
- 単4乾電池（UM-4）……2本
- ループアンテナ……1個
- FM／テレビアンテナ線 ……1本

（AST-SC20/SC10に付属）
- スピーカー取付金具……2個
- ネジ……4本
- スピーカーコード（コネクター付き）……2本

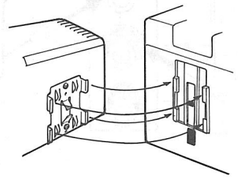
スピーカーの取り付けと取り外しかた

取り付けかた

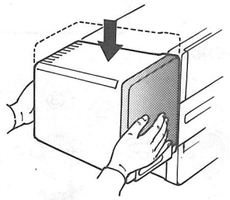
1．スピーカーに付属の取り付け金具を図のように2本のネジで固定します。



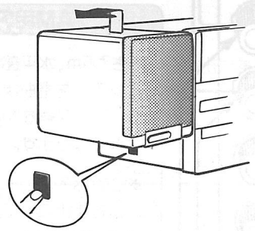
2．スピーカーの取り付け金具を本体側面のみぞに合わせます。
- スピーカーの下側の金具を本体のみぞに合わせてから、上側の金具を確実に合わせてください。



3．スピーカーを下に下げると"カチッ"と音がして固定されます。



はずしかた

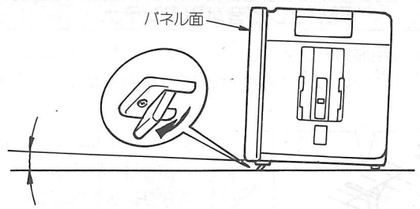


本体側面のボタンを指で押しながらスピーカーを上げるとはずれます。

ご注意：スピーカーをぶつけたり、落したりしないよう、ご注意ください。

可倒式レッグ

パネル側の脚を手前に倒して立て、パネル面を傾斜させることができます。



結露現象について

冬期に本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、CDプレーヤーの動作部やピックアップレンズに露が付くことがあります。
露が付いたままでは正常な動作ができませんので、そのようなときは、本機を室温に保ち、電源をいれたまま1～2時間放置し、露が消えてから操作してください。結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。
その場合は本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてください。

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

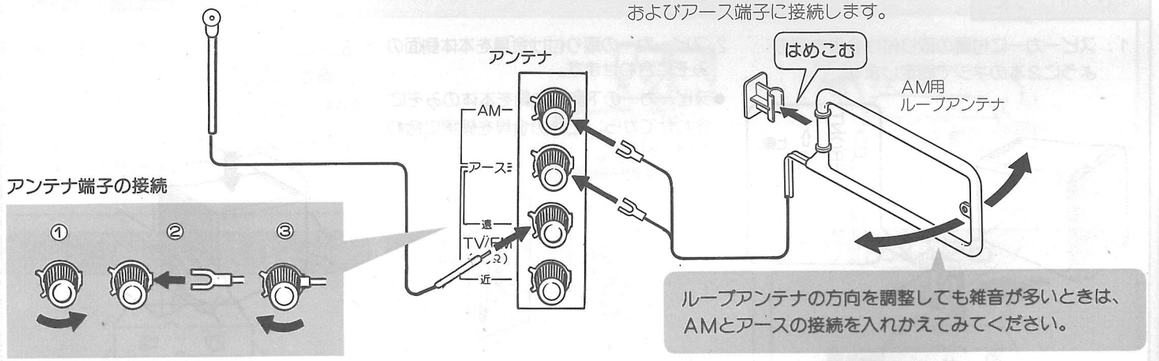
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

2 接続のしかた

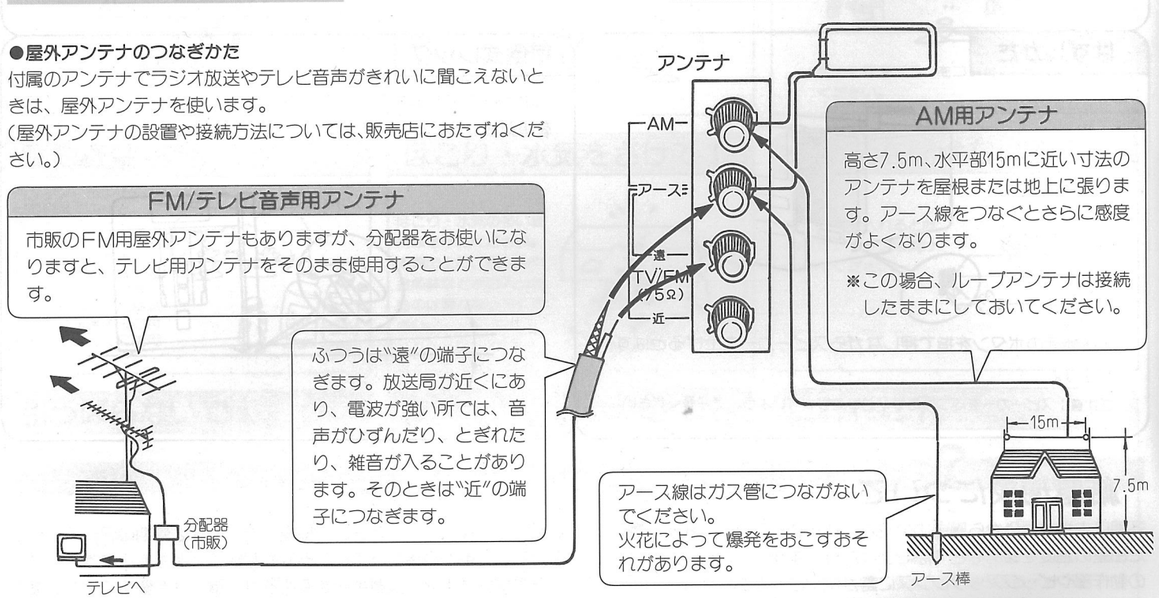
■アンテナの接続

1. FM／テレビ音声用アンテナの接続
アンテナ線をTV／FMの遠(遠距離)端子に接続します。

2. AM用ループアンテナの接続
付属のループアンテナをリアパネルに取り付け、アンテナ線をAMおよびアース端子に接続します。



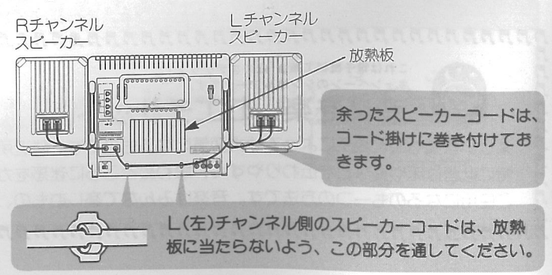
●屋外アンテナのつなぎかた
付属のアンテナでラジオ放送やテレビ音声がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使います。
(屋外アンテナの設置や接続方法については、販売店におたずねください。)



■屋外アンテナを立てる場所について

- ●放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ●ビルや山のかげなど、送信アンテナが見えない所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- ●自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路からはなれた所、またはそれらが見えない所に立てるようにします。
- ●送電線の下には立てないでください。
高圧線がアンテナに触れると大変危険です。
- ●落雷のおそれがありますのであまり高い所には立てないでください。

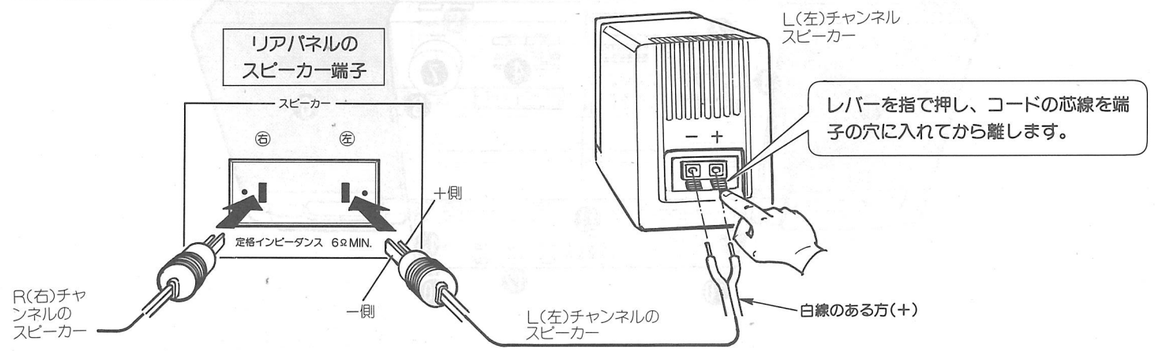
■余ったスピーカーコードは



■スピーカーシステムの接続

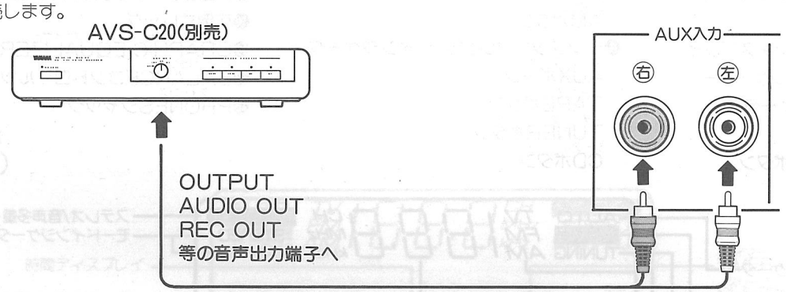
ご注意
本機は、ASTシステムを搭載しているため、従来のスピーカーシステムとの接続はできません。

本体に取り付けたスピーカーと、リアパネルのスピーカー端子を付属のスピーカーコードで接続します。
付属のスピーカーコードのコネクターをリアパネルのスピーカー端子へ、片方の白線側をスピーカーシステムの+端子、白線のない方を−端子に接続します。
接続の際、L(左)チャンネルとR(右)チャンネルを間違えないようにしてください。



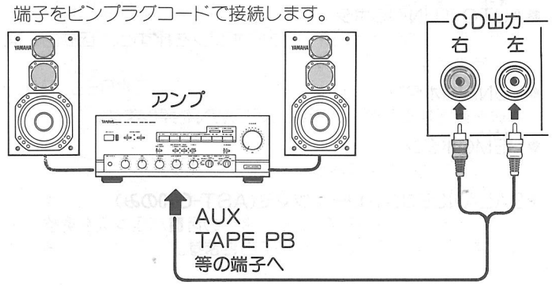
■外部機器の接続

- ●ヤマハAVセレクターAVS-C20(別売)の出力端子または他のAV機器の出力端子(OUT PUT端子のあるラジカセや、ビデオデッキのAUDIO OUT端子等)と、本機のAUX入力端子をピンプラグコードで接続します。
- ●接続する前に、各機器の電源は必ず切っておいてください。
- ●L(左)チャンネルとR(右)チャンネルを間違えないで接続してください。



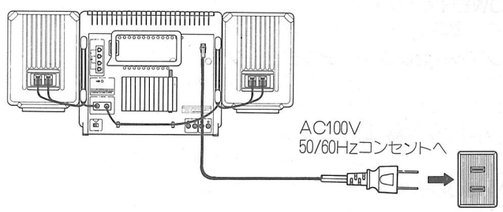
★CD出力端子について(AST-C20のみ)

本機のCDプレーヤーの音を、他のアンプに接続して聞くことができます。アンプのAUXまたはTAPE PB端子と、本機のCD出力端子をピンプラグコードで接続します。



■電源コードの接続

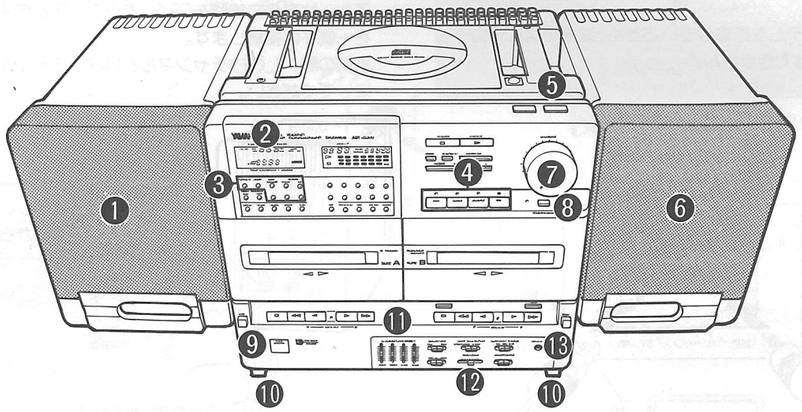
必ず、AC100V，50/60Hzの電源コンセントへ接続してください。



3 各部の名称とはたらき

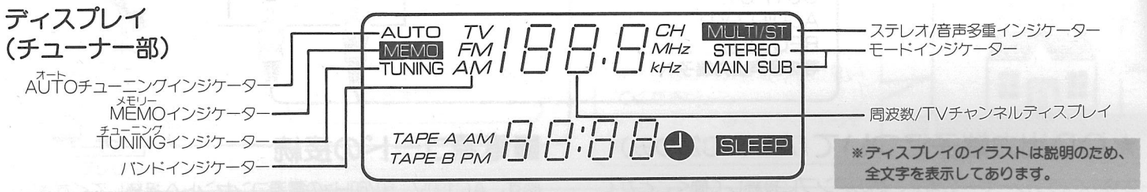
●ディスプレイは、操作に応じてその状態を表示します。
●本体イラストは、AST-C20を示します。
AST-C10にはCDのダイレクト選曲ボタン、BALANCEコントロール、EQ RECボタンが省略されております。

■チューナーおよびアンプ部



❶スピーカーシステム：L(左)チャンネル
❷ディスプレイ(チューナー部)
TUNINGインジケーター
MEMO(MEMORY)インジケーター
AUTOチューニングインジケーター
バンドインジケーター
周波数/TVチャンネルディスプレイ
ステレオ/音声多重インジケーター
ステレオモードインジケーター
❸選局ボタン
MEMO(MEMORY)ボタン
FM MODEボタン
AUTO TUNINGボタン
TUNING(UP, DOWN)ボタン
TVボタン
FMボタン
AMボタン
❹インプットセレクター/インジケーター
AUXボタン
TAPEボタン
TUNERボタン
CDボタン
❺POWERスイッチ
❻スピーカーシステム：R(右)チャンネル
❼VOLUMEツマミ/インジケーター
❽DYNAMIC SOUNDボタン/インジケーター
❾REMOTE CONTROL受光窓
❿可倒式レッグ
⓫GRAPHIC EQUALIZERツマミ
⓬BALANCEコントロールツマミ(★AST-C20のみ)
⓭PHONESジャック

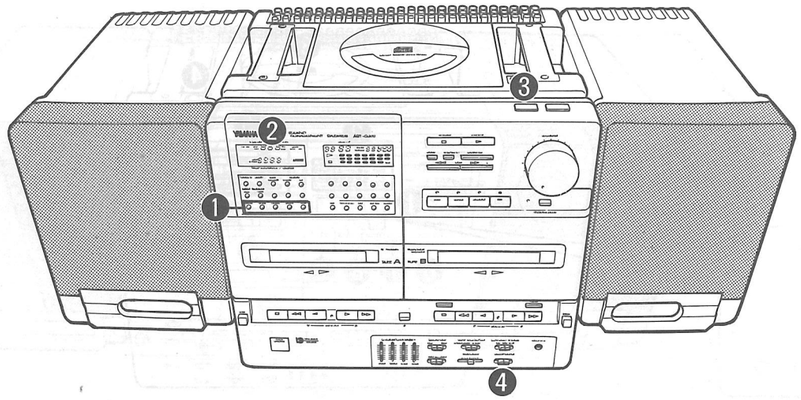
ディスプレイ(チューナー部)



※ディスプレイのイラストは説明のため、全文字を表示してあります。

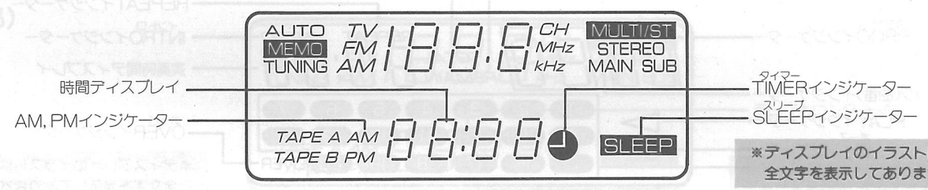
●POWERスイッチ
押すと電源が入り、もう1度押すと電源が切れます。
●インプットセレクター/インジケーター
CD、チューナー、テープ、AUX(外部機器) の入力ソースを選択します。ボタンを押すとインジケーターが点灯します。
●バンド(TV, FM, AM)ボタン
テレビまたはFM、AMの放送バンドを選択するときに押します。
●FM MODEボタン
FM放送のステレオまたは、モノラルを選択するときに押します。
●AUTO TUNINGボタン
このボタンを押してからTUNINGボタンを押すと、自動的に選局を始めます。
●TUNINGボタン
放送を選局するとき、UPまたはDOWNを押します。
●MEMOボタン
受信した放送局を記憶させるときに押します。
★BALANCEコントロールツマミ(AST-C20のみ)
L(左)チャンネルとR(右)チャンネルの音量バランスを調整します。通常は中央(0)にセットしておきます。

■タイマー部



❶タイマーセットボタン
TIMERボタン
SLEEPボタン
CLOCKボタン
HOURボタン
MINボタン
❷ディスプレイ(タイマー部)
AM. PMインジケーター
時間ディスプレイ
SLEEPインジケーター
TIMERインジケーター
❸TIMER(CLOCK/TIMER/SLEEP)SETスイッチ
❹TIMER MODEスイッチ

ディスプレイ(タイマー部)



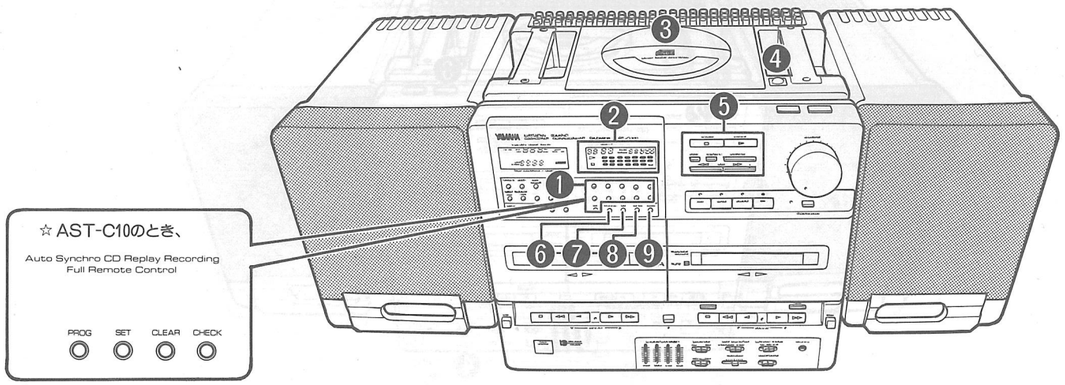
※ディスプレイのイラストは説明のため、全文字を表示してあります。

●TIMERボタン
このボタンを押したままHOUR(時間)またはMIN(分) ボタンを押して、タイマーのON時刻をセットします。
●SLEEPボタン
このボタンを押したままHOUR(時間)またはMIN(分) ボタンを押して、スリープ時刻をセットします。

確認するには……
●タイマーのON時刻を確認したいときは、TIMERボタンを押します。
●スリープ時間を確認したいときは、SLEEPボタンを押します。

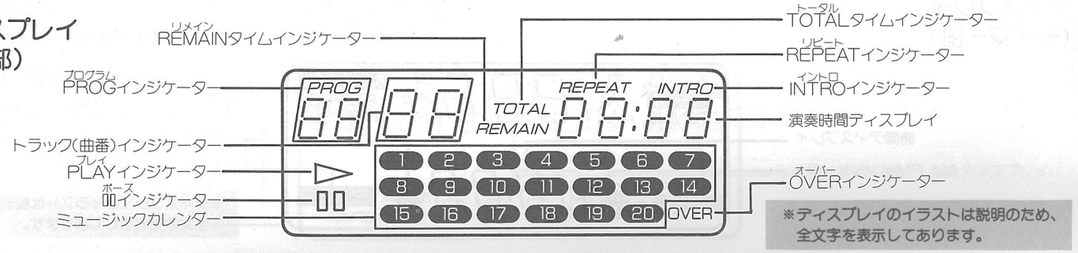
●CLOCKボタン
このボタンを押したままHOUR(時間)またはMIN(分) ボタンを押して、現在時刻をセットします。また、テープのカウンター表示を現在時刻表示に変えるときに押します。

■ CDプレーヤー部



❶ダイレクト選曲ボタン(★AST-C20のみ)
❷CDディスプレイ
PROG(PROGRAM)インジケーター
トラック(曲番)インジケーター
▷PLAYインジケーター
❚❚ポーズインジケーター
TOTALタイムインジケーター
REMAINタイムインジケーター
REPEATインジケーター
INTROインジケーター
演奏時間ディスプレイ
ミュージックカレンダー
OVERインジケーター
❸ディスクホルダー
❹ ≙ CDイジェクトボタン
❺CD演奏ボタン
□ (停止)ボタン
▷/□ PLAY/REPEAT(演奏/繰り返し)ボタン
DISPLAYボタン
INTROボタン
PAUSE(一時停止)ボタン
⏮/◁◁-▷▷/▷▷ボタン
❻PROG(PROGRAM)ボタン
❼SETボタン
❽CLEARボタン
❾CHECKボタン

ディスプレイ (CD部)

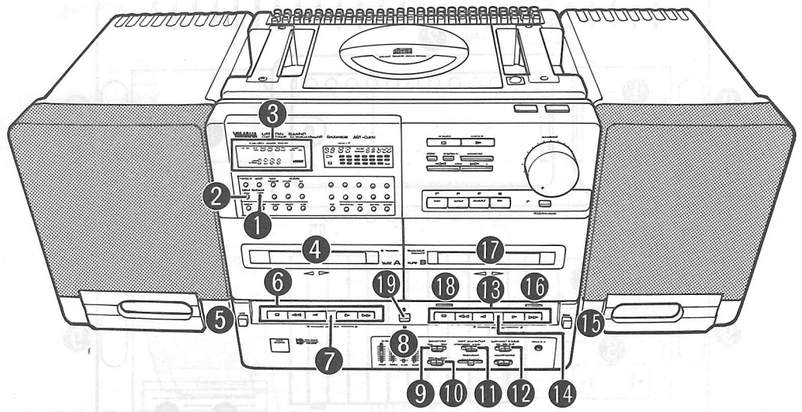


※ディスプレイのイラストは説明のため、全文字を表示してあります。

●▷/□ボタン
CDを演奏するときに押します。2回押すと、リピート(繰り返し)演奏ができます。
●□ボタン
演奏を止めるときに押します。
※全曲の演奏が終ったときには、自動停止します。
●PAUSEボタン
演奏を一時停止させるときに押します。
※▷/□ ボタンを押すと、再び演奏が始まります。

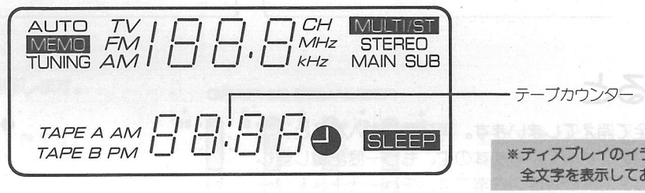
●⏮/◁◁-▷▷/▷▷⏭ボタン
頭出し演奏、飛び越し選曲、ポーズ時のサーチ演奏のときに使います。
●INTROボタン
イントロ演奏のときに押します。
●DISPLAYボタン
演奏時間の表示を切り替えます。
●PROG, SET, CLEAR, CHECKボタン
プログラム選曲のときに使います。

■カセットデッキ部



❶TAPE COUNTER RESETボタン
❷TAPE COUNTER CALLボタン
❸ディスプレイ(テープ部)
テープカウンター
❹カセットホルダー(TAPE A)
❺EJECTボタン(TAPE A)
❻操作ボタン(TAPE A)
□ (停止)ボタン
◁◁ (巻き戻し)ボタン
◁ (再生)ボタン/DIRECTIONインジケーター
▷ (再生)ボタン/DIRECTIONインジケーター
▷▷ (早送り)ボタン
❼TAPE A PLAYインジケーター
❽REC(録音)インジケーター
❾DOLBY NRスイッチ
❿EQ REC(イコライザー録音)スイッチ(★AST-C20のみ)
⓫TAPEセレクタースイッチ
⓬REVERSE MODEスイッチ
⓭操作ボタン(TAPE B)
各ボタンの名称は、❻と同じです。
⓮TAPE B PLAYインジケーター
(PAUSE時は点滅)
⓯EJECTボタン(TAPE B)
⓰REC(録音)ボタン
⓱カセットホルダー(TAPE B)
⓲PAUSE(一時停止)ボタン
⓳DUBBINGボタン/インジケーター

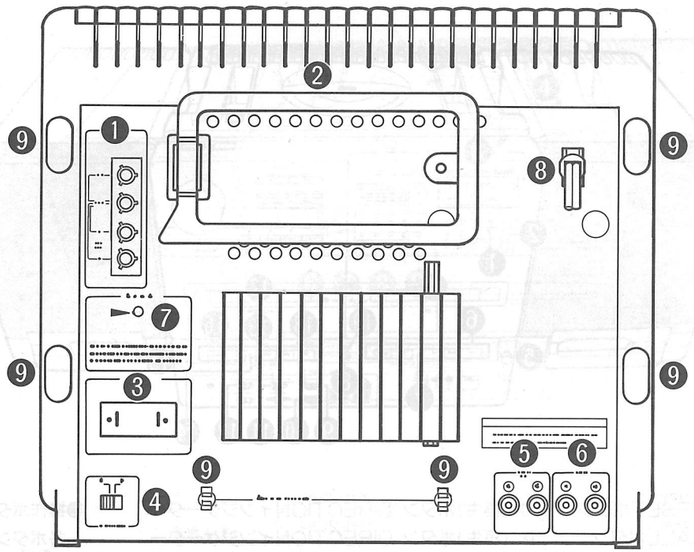
ディスプレイ (テープ部)



※ディスプレイのイラストは説明のため、全文字を表示してあります。

●TAPE COUNTER CALLボタン
押すと、ディスプレイの時計表示をテープカウンター表示に変えます。もう1度押すとテープカウンターの表示をTAPE A または、TAPE B に切り替えます。
●TAPE COUNTER RESETボタン
押すとテープカウンターの表示が"0000"となります。
●REC(録音)ボタン
録音するときに押します。
※CDから録音するときには、リプレイ機能(テープが反転する際の音切れを防ぐ編集機能)が動作します。

■リアパネル部



❶アンテナ端子
AM端子
アース端子
TV/FM端子（遠距離用）
〃　（近距離用）
❷ループアンテナ
❸スピーカー端子
❹ビートキャンセルスイッチ
❺AUX入力端子
❻CD出力端子（★AST-C20のみ）
❼メモリーリセットボタン
❽電源コード
❾スピーカーコード掛け用ブラケット

■停電すると

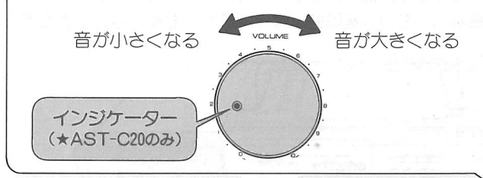
記憶した内容は、全て消えてしまいます。再び電源を入れると、プリセットの内容は始めの状態に戻りますので、もう一度記憶し直してください。ただし、3時間程度の停電では、チューナーメモリーした内容は消えません。（CDプログラム、クロック、タイマーは消えます。）

●メモリーリセットボタン
メモリーした内容を全て消したい時や、正しく表示しなくなった時は、電源コードを抜いて、このボタンを約1分間押してください。

4 音量や音質を調整するには

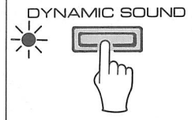
■音量を調整するには

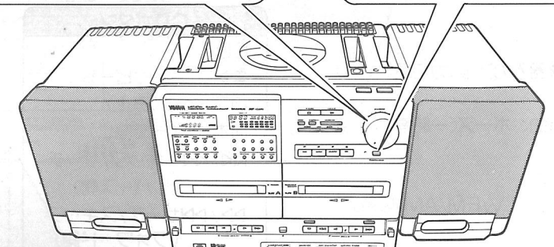
VOLUMEツマミを回します。



■小音量で聞くとき

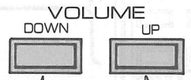
DYNAMIC SOUNDボタンを押します。
低音と高音が補正され、小音量で聞くときでも迫力のある音をお楽しみいただけます。
●この場合、グラフィックイコライザーの各ツマミは"0"位置にしておきます。





■リモコンによる音量調整

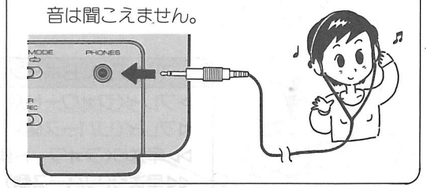
VOLUMEボタンのUPまたはDOWNを押します。
●押し続けると連続的に音量が変化します。
●本体のVOLUMEツマミは、インジケーター（★AST-C20のみ）を点滅させながら回転します。



押すと音が小さくなる　押すと音が大きくなる

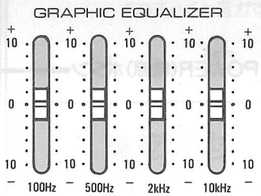
■ヘッドホンで聞くには

ヘッドホンのプラグをPHONESジャックに接続します。
●インピーダンス8～32Ω，直径3.5mmのミニプラグ付きのヘッドホンをご使用ください。
●ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえません。



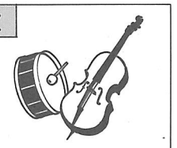
■音質を調整するには

GRAPHIC EQUALIZERツマミを調整します。
●ツマミを上下にスライドさせると、そのツマミの周波数付近の音質を調整できます。
●グラフィックイコライザーは、
☆AST-C10では、再生時のみ動作します。
★AST-C20では、EQ　RECボタンをONにすると録音時にも使用できます。



⬆ 上にスライドさせると音が強調され
⬇ 下にスライドさせると音が弱くなる

100Hz



ベースやドラム等の低音域をコントロールします。

500Hz

ボーカル等が再生される音域をコントロールします。

2kHz

弦楽器等、音の"ツヤ"が表現される音域をコントロールします。

10kHz

シンバルやトライアングル等、超高音域をコントロールします。

5 リモコンの使い方

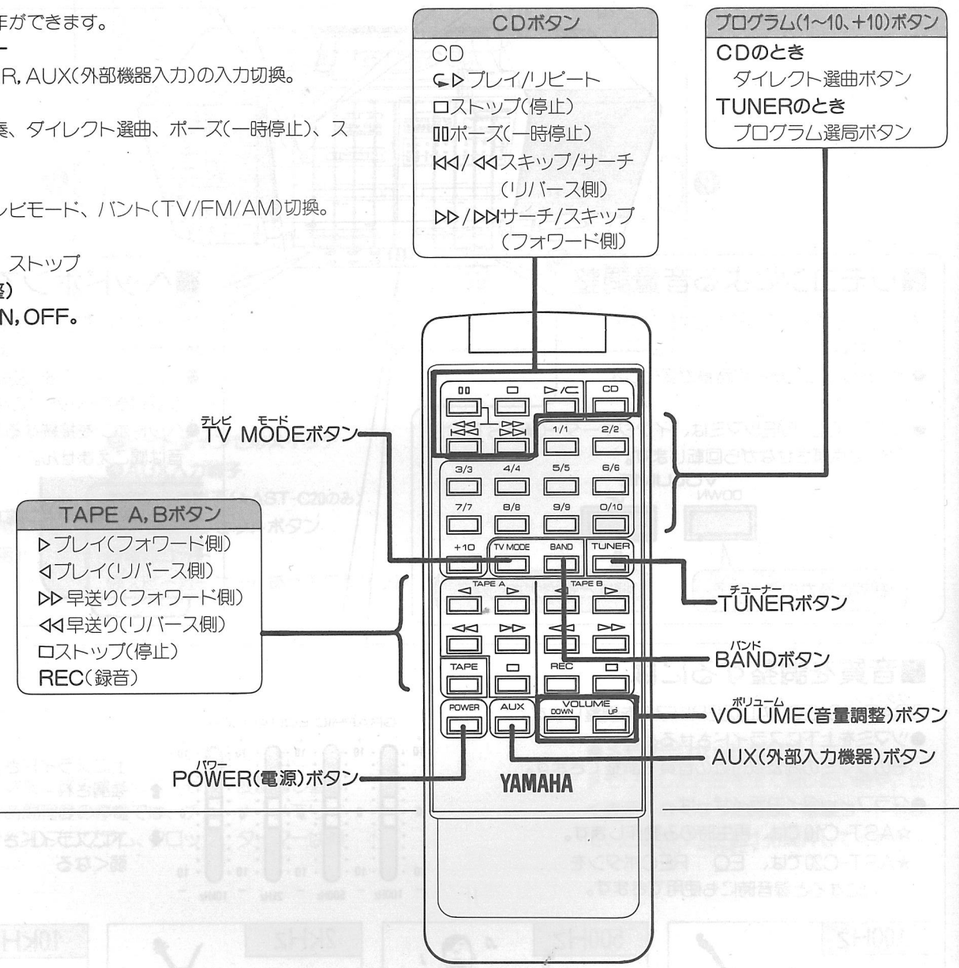
■リモコンを使う前に

●受信部とリモコンの間に障害物があると、操作できないことがあります。
●リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所には置かないでください。
●受信部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明または本体の向きを変えてください。
●他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作しないことがあります。

■リモコンの操作

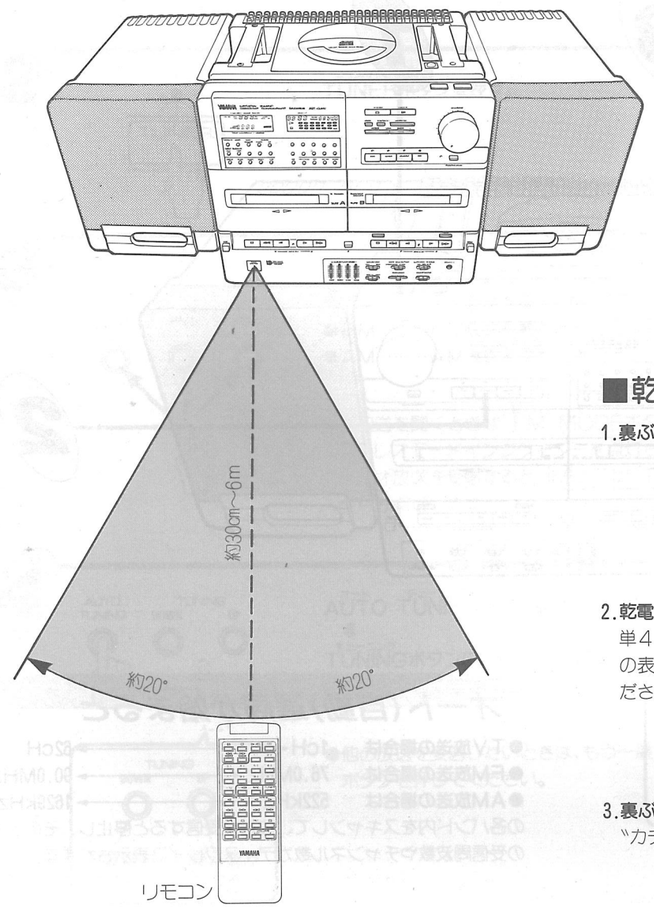
リモコンでは、次の操作ができます。

●**インプットセレクター**
CD, TAPE, TUNER, AUX(外部機器入力)の入力切換。
●**CD**
リピート、サーチ演奏、ダイレクト選曲、ポーズ(一時停止)、ストップ。
●**TUNER**
プログラム選局、テレビモード、バント(TV/FM/AM)切換。
●**TAPE**
再生、早巻き、録音、ストップ
●**VOLUME(音量調整)**
●**POWER(電源)のON, OFF。**



■リモコンについてのご注意

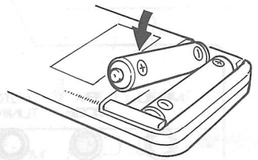
リモコンが使用できる範囲は



■乾電池の交換

1.裏ぶたをはずす。

2.**乾電池を入れる。**
単4乾電池×2個を、⊕⊖の表示通り正しく入れてください。



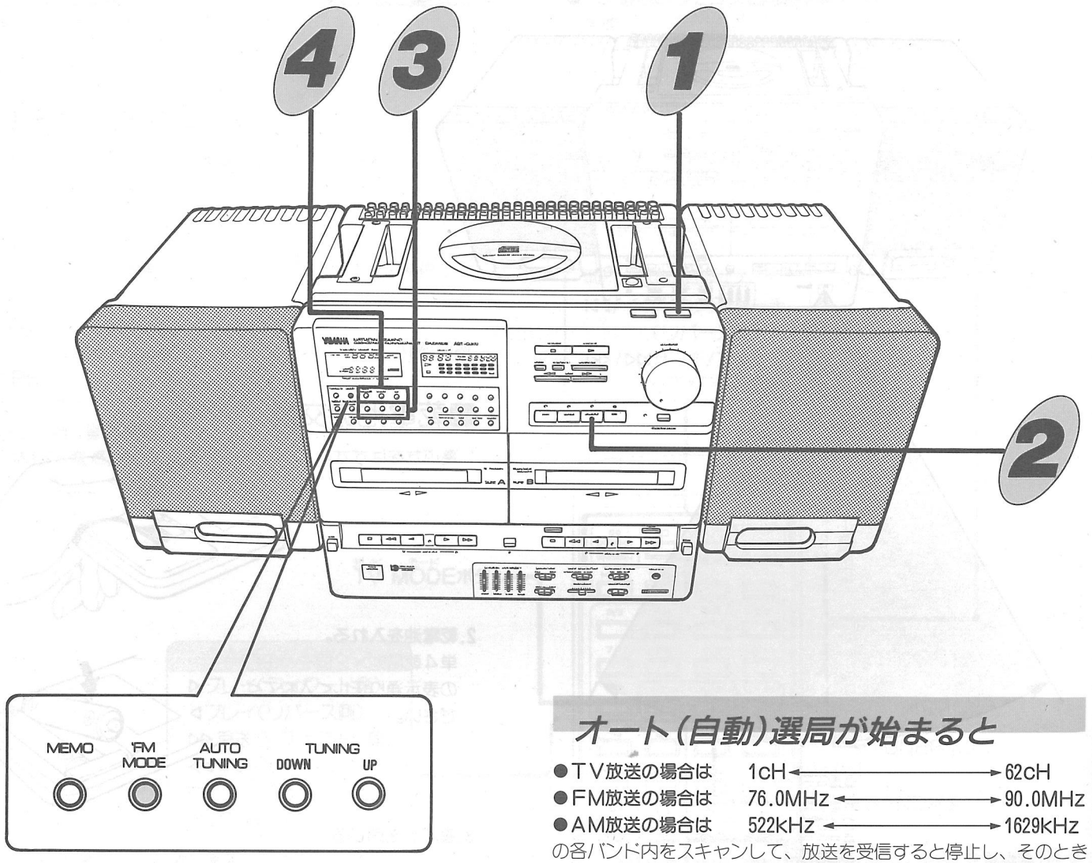
3.**裏ぶたを閉じる。**
〝カチッ〟と音がするまで、確実に閉じてください。

■乾電池についてのご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれや破れつすることがあります。次のことを守ってください。
●⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
●新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類のちがうものをまぜて使わないでください。
●長い間使わないときは、全部取り出しておいてください。
●液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

6 ラジオ放送やテレビ音声を聞くには

オート(自動)選局のしかた



オート(自動)選局が始まると

- ●TV放送の場合は　1cH ←→ 62cH
- ●FM放送の場合は　76.0MHz ←→ 90.0MHz
- ●AM放送の場合は　522kHz ←→ 1629kHz

の各バンド内をスキャンして、放送を受信すると停止し、そのときの受信周波数やチャンネル数がディスプレイに表示されます。

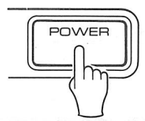
■電波の弱い放送局や雑音の多い放送を受信するには

●電波が弱い放送局は、受信してもオートチューニングが止まらないことがあります。この場合、AUTO TUNINGボタンを押してAUTOインジケーターを消し、マニュアル選局(右記)にて受信してください。雑音が多い場合には、FMモードボタンを押してステレオモードインジケーターを消し、モノラルモードで受信してください。雑音が大幅に少なくなります。

マニュアル選局

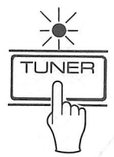
AUTOインジケーターが消えた状態でTUNINGボタンのUPまたはDOWNボタンを押すと周波数が1つずつ変わります。これをマニュアル選局といいます。

1



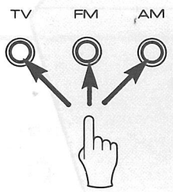
POWER(パワー)スイッチを押す。

2



TUNER(チューナー)ボタンを押す。

3

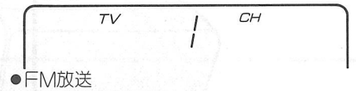


希望のバンドを選ぶ。

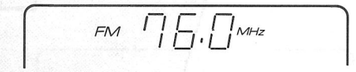
- ●TV……TV音声を聞くとき
- ●FM……FM放送を聞くとき
- ●AM……AM放送を聞くとき

FM放送を聞くときは、FM(エフエム) MODE(モード)ボタンを押してステレオモードインジケーターを点灯させます。ステレオ放送を受信すると、MULTI/STインジケーターが点灯します。

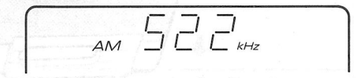
●TV音声



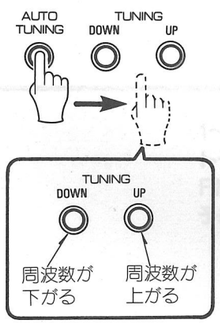
●FM放送



●AM放送



4



AUTO(オート) TUNING(チューニング)ボタンを押してから

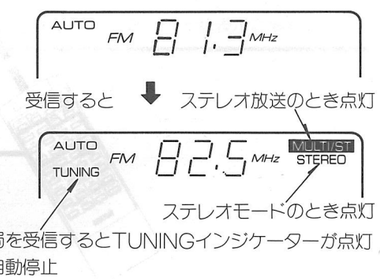
↓

TUNING(チューニング)ボタンのUP(アップ)またはDOWN(ダウン)を押す。

放送局を探して自動停止します。

●他の放送を受信したいときは、もう一度TUNING(チューニング)ボタンを押してください。

(例) FM放送 82.5MHzを受信した場合



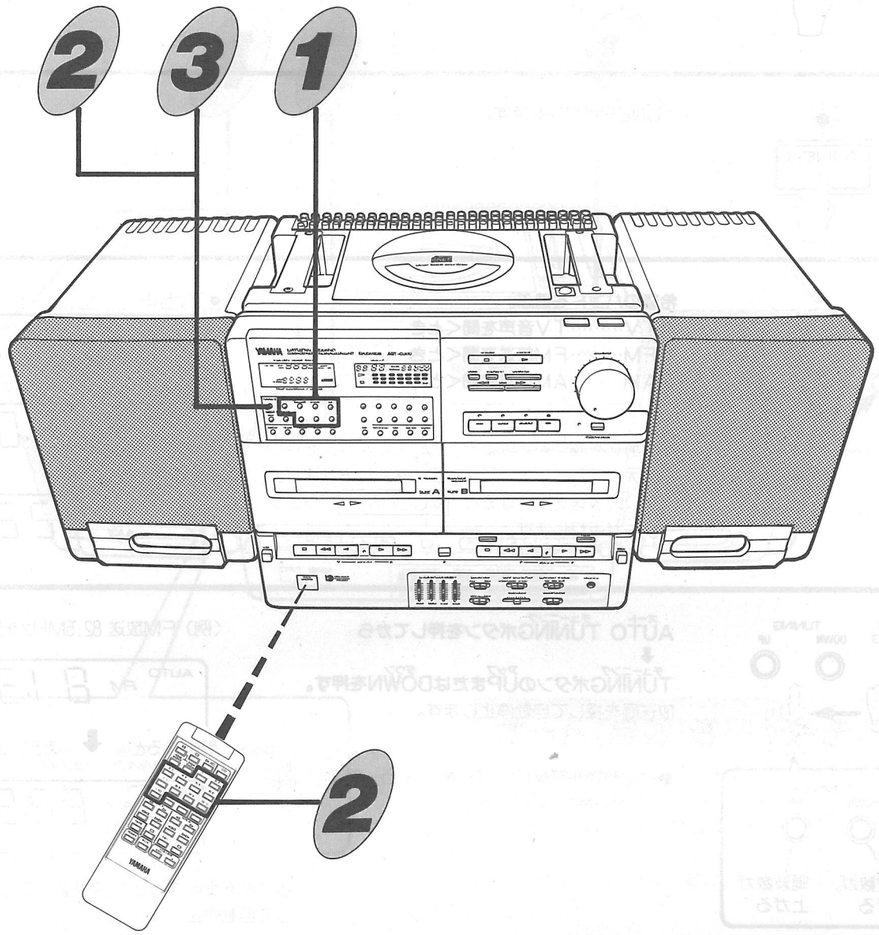
■インプットセレクターをTUNER以外にしたときは、周波数やチャンネルの表示はついたままになります。

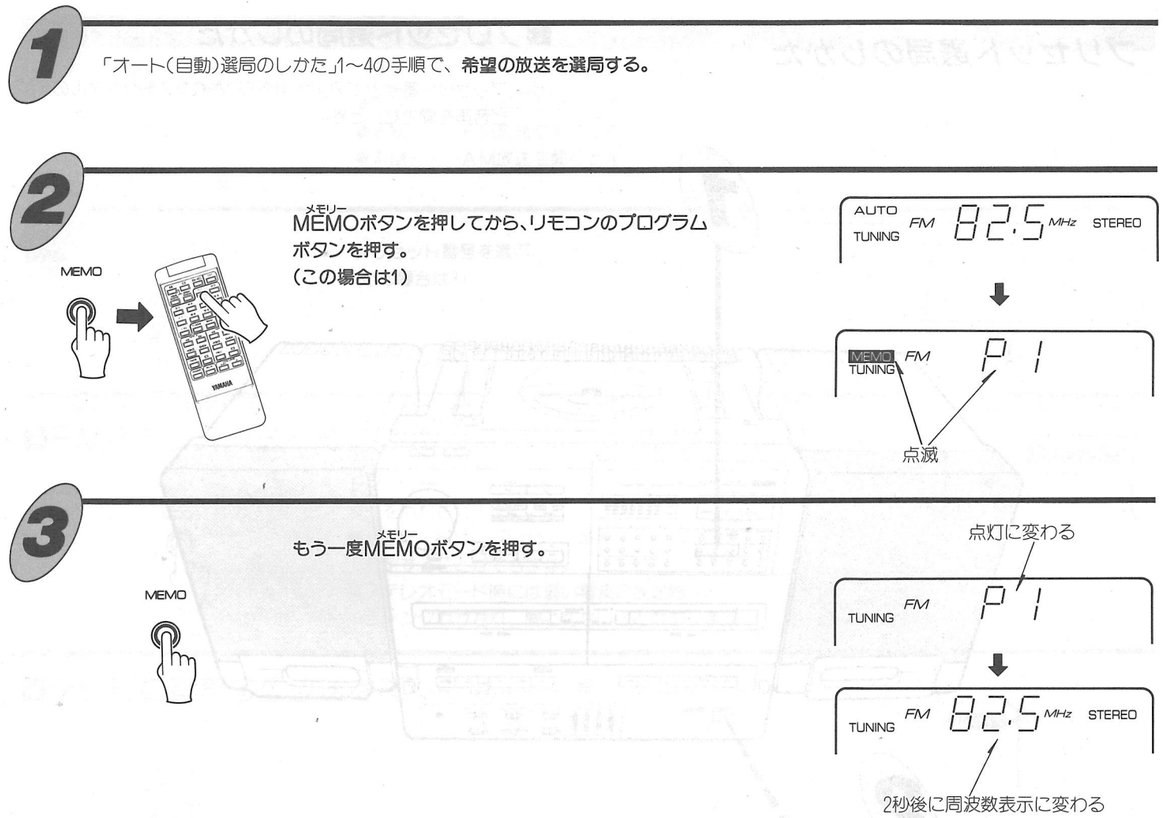
このとき選局操作をしても動作しません。必ずTUNERボタンを押してから操作してください。

プリセット選局のしかた

■プログラムのしかた

（例）プリセット番号1に82.5MHzのFM局をプリセット予約したいとき。





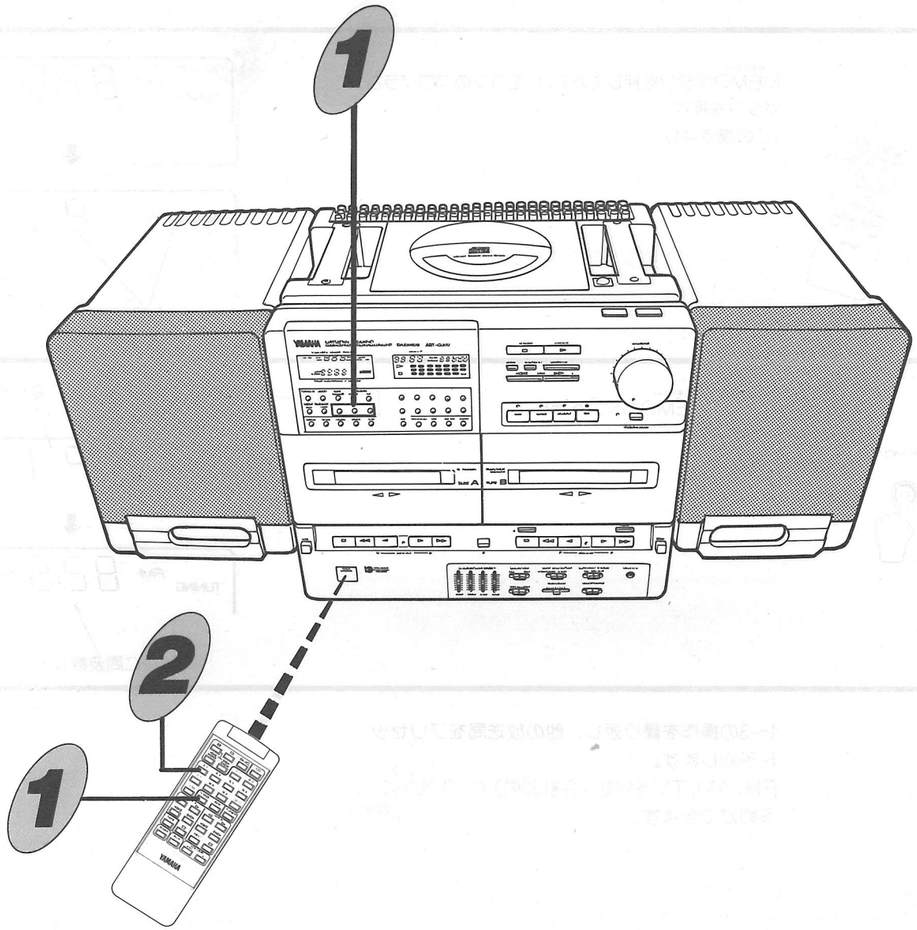
1〜3の操作を繰り返し、他の放送局をプリセット予約します。
FM, AM, TV各10局（合計30局）のプリセット予約ができます。

プログラムした放送局を変えるとき

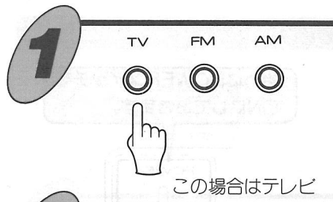
1〜3の操作で他の放送局を新らしくプリセット予約すると、前のプログラムは消えます。

プリセット選局のしかた

（例）プリセット番号3にプリセット予約された8チャンネルのテレビ音声を聞きたいとき。



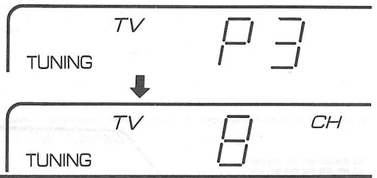
■プリセット選局のしかた



希望のバンドを選ぶ。（付属リモコンのバンドボタンで選ぶこともできます。）

- TV……TV音声を聞くとき
- FM……FM放送を聞くとき
- AM……AM放送を聞くとき

プリセット番号を選ぶ。
（この場合は3）

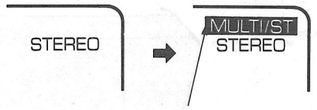


■FMステレオ放送を聞くには

FM（エフエム） MODE（モード）ボタンを押し、STEREO（ステレオ）インジケーターを点灯させます。

- FMモードは、プリセット選局のプログラム時に設定することができます。

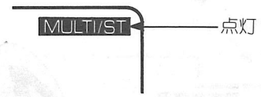
※ステレオモード時には弱い電波の放送局はミューティングがかかり、聞こえないことがあります。



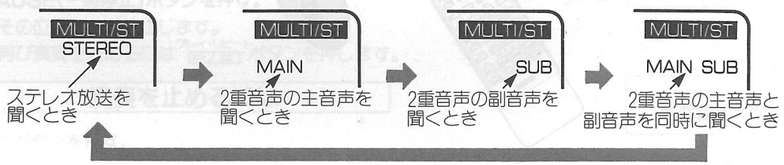
FMステレオ放送を受信すると、MULTI/STインジケーターが点灯します。

■テレビの音声多重放送を聞くには

テレビのステレオ放送や、2重音声（2ケ国語）放送を受信すると MULTI/ST インジケーターが点灯します。



リモコンのTV（テレビ） MODE（モード）ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が変ります。
（2重音声放送を受けていない時は、変わりません。）

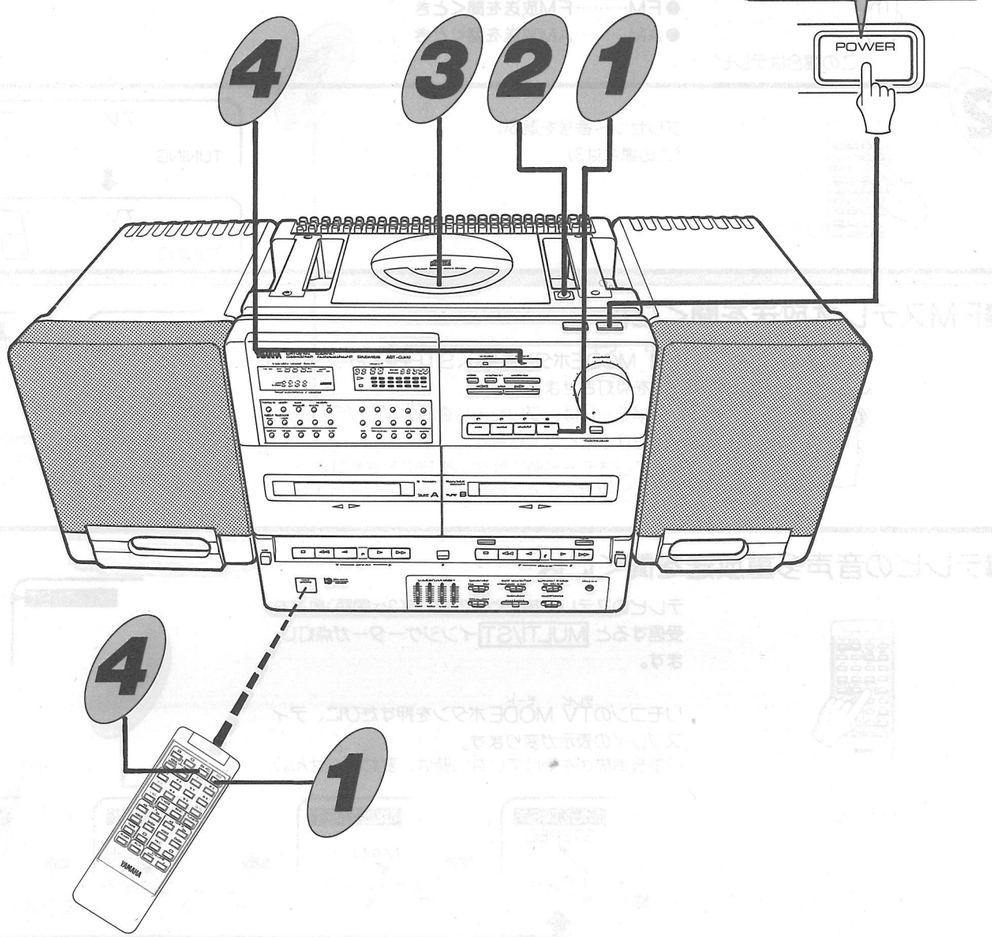


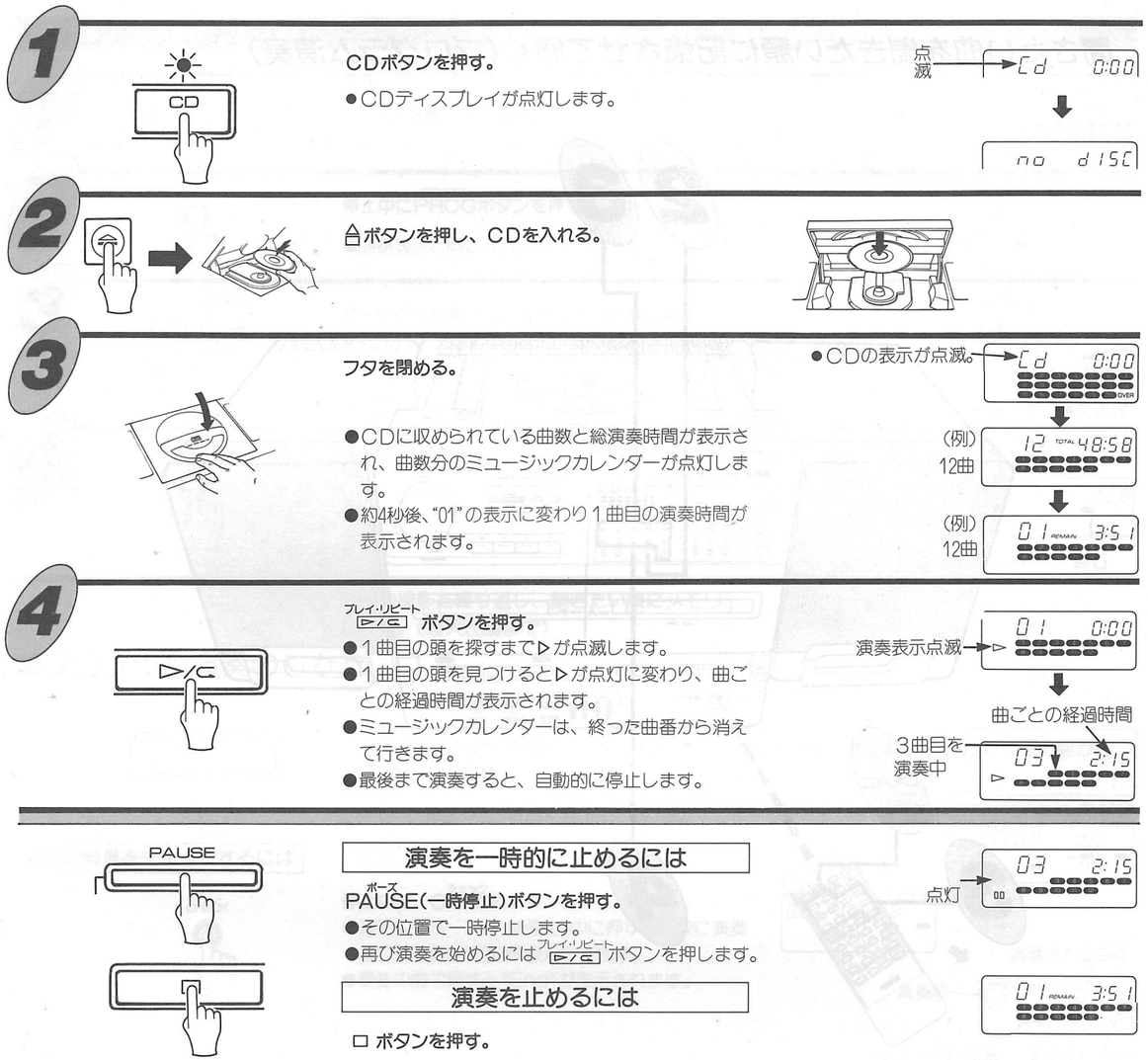
主音声とは……番組本来の音声。（日本語）
副音声とは……外国語や主音声を補うための解説等。

- テレビ音声の電波が弱いときは、音声多重放送の受信はできません。

7 CDを演奏するには

演奏と基本操作





ご注意

●CD演奏中にディスクを取り出すときは、必ず□ボタンを押し、ディスクが停止したことを確認してから、△ボタンを押してください。

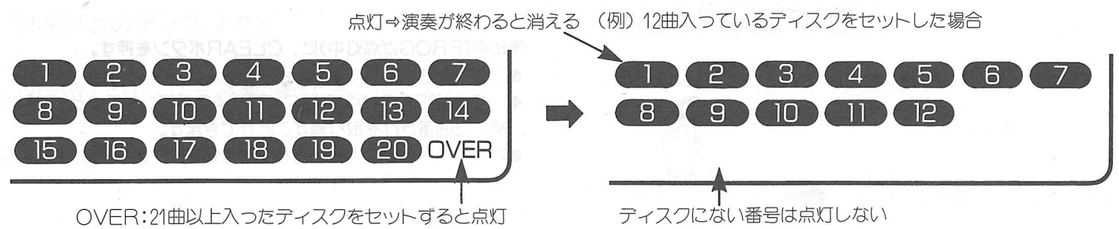
●CDを操作すると、近くのチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じることがあります。特に室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をお勧めします。

●本機に衝撃を与えたり、振動しやすい場所でお使いになると、音とびを起こすことがあります。CDの内容によっても音とびを起こすことがありますので、この場合、音を小さくしてお聞きください。

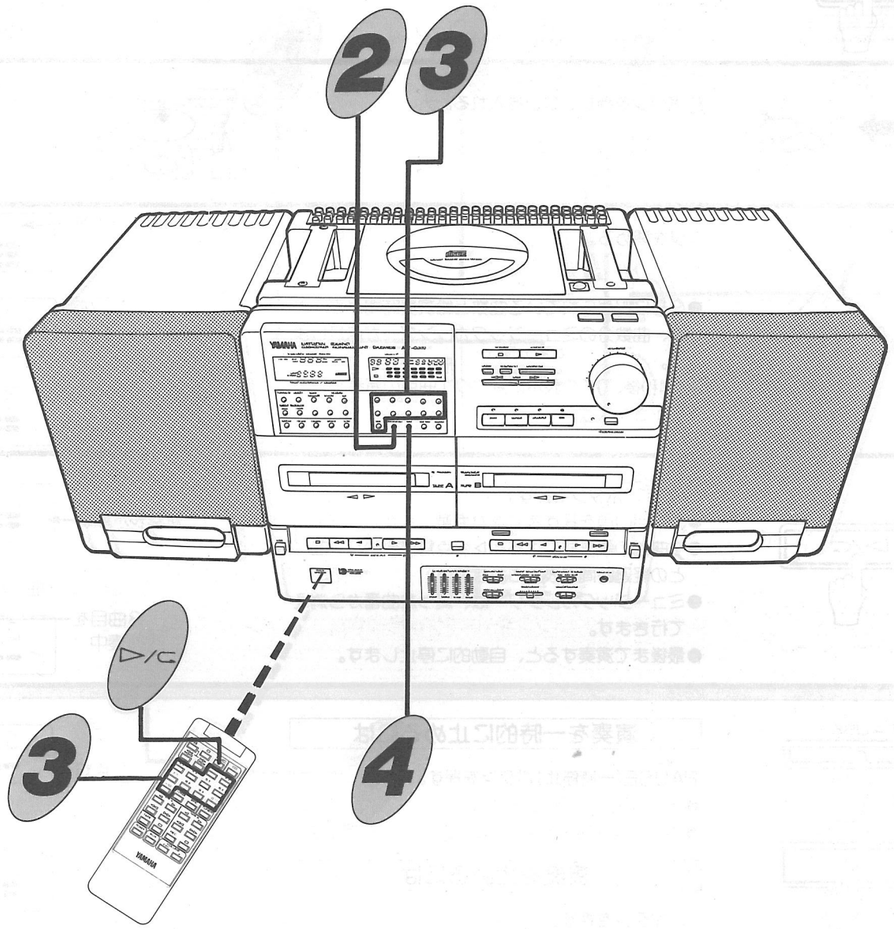
●演奏中に△ボタンを押さないでください。

■ミュージックカレンダーについて

ディスクホルダーにディスクをセットすると、ディスクに収録されている曲数に対応した番号が、ミュージックカレンダーに点灯します。
演奏を終えた曲番は順次消灯します。
プログラム選曲時は、プログラムされた曲の曲番が点灯するため、事前にセットミスを防ぐことができます。



聞きたい曲を聞きたい順に記憶させて聞く(プログラム演奏)



プログラムを消すには

停止中(PROGが点灯中)に、CLEARボタンを押す。

- ●記憶した曲番が全て取り消されます。
- ●記憶中(PROGが点滅中)に、CLEARボタンを押すと、最後に記憶した曲番だけを取り消すことができます。
- ●演奏中や一時停止中に曲番を記憶させたり、取り消すことはできません。

■プログラムのしかた

1 「演奏と基本操作」1〜3の順で、CD(シーディ)をセットします。

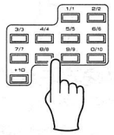
(例) 01 REMAIN 3:51

2

停止中にPROG(プログラム)ボタンを押す。

●曲番表示と同じミュージックカレンダーが点滅。

(例) 点滅 PROG 00 01 TOTAL 0:00 点滅

3 

ダイレクト選曲ボタンを押して、曲番を選ぶ。

☆AST-C10では、リモコンの選曲ボタン。

★AST-C20では、本体またはリモコンの選曲ボタン。

(例) 点滅 PROG 00 05 TOTAL 0:00

(例)5曲目を選んだときの点滅

4

SET(セット)ボタンを押す。

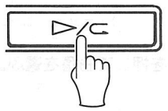
(例) 点滅 PROG 01 05 TOTAL 4:28

記憶した順番　点灯

3〜4の操作を繰り返し、聞きたい順にメモリーします。(最大20曲まで)

■プログラム演奏のしかた

▷/C(プレイ・リピート) ボタンを押す。➡ 選曲した順に、演奏が始まります。



演奏中に⏮ボタンや⏭ボタンを押すと、前の曲や次の曲の頭出しをして、その曲から演奏を始めます。

演奏の順番をチェックするには

停止中に、CHECK(チェック)ボタンを押す。

- ●演奏中やポーズ(一時停止)中に押すと、次に演奏される曲番が約2秒間表示されます。
- ●最後の曲で押すと"End"が表示されます。

(例)5→9→7曲目の順にメモリーした場合

PROG 01 07 05

PROG 02 07 09

PROG 03 07 07

演奏される曲番

演奏順

ディスク上の曲番　演奏順に点滅

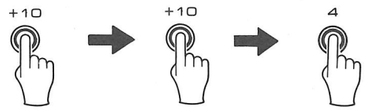
21曲以上のディスクでは

- ●21曲以上のディスクでは、ディスプレイにOVERと表示されます。OVER表示されていても、演奏の操作方法は21曲以内のディスクと同じです。但し、時間表示はされません。

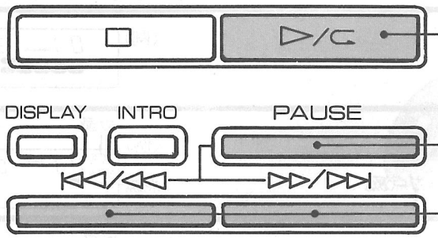
プログラムの方法は

+10ボタンを押した後1〜9ボタンを押します。

(例) 24曲目⇨+10→+10→4



■曲を早聞きしながら聞きたいところを探すには(サーチ選曲)



3.聞きたい所で、プレイ・リピート ▷/C ボタンを押す。演奏が始まります。

1.演奏中にPAUSE(ポーズ)ボタンを押す。

2.⏮または⏭ボタンを押す。

サーチ選曲の速さについて

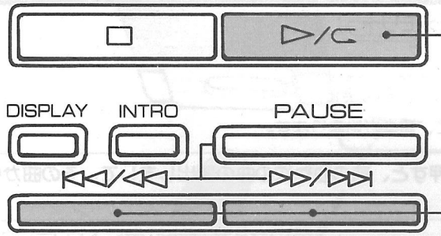
サーチ選曲開始後、約2秒間は通常の2倍の速さ、その後は約15倍の速さで選曲します。選曲中は小さな音が聞こえますので、この音を目安にして、好きなところを探してください。

Endの表示について

サーチ選曲中、早送りの状態で最後になると"End"が表示されます。このときは⏮/⏮ボタンまたは□ボタンを押してください。

●プログラム演奏やイントロ演奏中には、サーチ選曲はできません。

■聞きたい曲の頭から聞く(スキップ選曲)



2.プレイ・リピート ▷/C ボタンを押す。演奏が始まります。

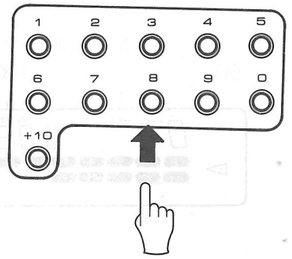
1.停止中に⏮または⏭ボタンを押して曲番を選ぶ。
(⏮:曲番が下がる。
⏭:曲番が上がる。)

●曲を続けて飛び越したいとき

⏮または⏭ボタンを繰り返して押します。曲番表示された曲から演奏が始まります。

■聞きたい曲から聞く(ダイレクト選曲)

CDまたはリモコンのダイレクト選曲ボタンを押す。➡ 選んだ曲の頭から演奏が始まります。



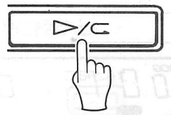
★AST-C20のとき

☆AST-C10では、リモコンの選曲ボタン。
★AST-C20では、本体またはリモコンの選曲ボタン。

☆AST-C10のとき
★AST-C20のとき

■繰り返して聞く(リピート演奏)

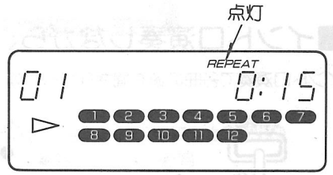
全曲を繰り返して聞くには



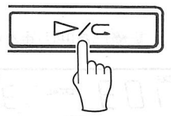
プレイ・リピート ▷/C ボタンを2回押してREPEATインジケーターを点灯させる。

⬇

最後の曲まで演奏されると、最初の曲へ戻り、全曲を繰り返し演奏します。



聞きたい曲だけ、繰り返し聞くには

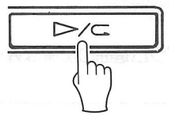


「聞きたい曲を聞きたい順に記憶させて聞く(プログラム演奏)」の手順で1曲または聞きたい曲を数曲選ぶ。(☞25ページ)

プレイ・リピート ▷/C ボタンを押してREPEATインジケーターを点灯させる。

●1曲または選曲した曲を繰り返し演奏します。

繰り返し演奏を止めるには



プレイ・リピート ▷/C ボタンを押してREPEATインジケーターを消す。

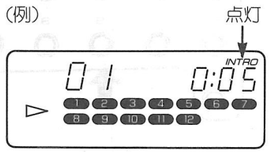
●普通の演奏に戻ります。

■各曲のイントロを自動的に聞くには(イントロ演奏)

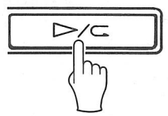
CD(シーディ)に入っている各曲の頭を約15秒間ずつ、自動的に演奏することができます。

INTRO(イントロ)ボタンを押す。

- 1曲目から、イントロ演奏が始まります。
  (曲の頭を約15秒間だけ演奏すると、自動的に次の曲の頭を演奏し、最後の曲の頭まで演奏します。)
- 最後の曲までイントロ演奏すると、自動的に停止します。
- イントロ演奏の繰り返しはできません。



イントロ演奏を止めるには

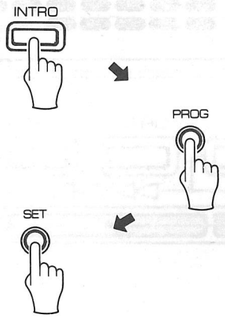


▷/C(プレイ・リピート)ボタンを押す。

- INTRO表示が消え、普通の演奏に戻ります。

■イントロ演奏しながら、プログラム選曲するには(イントロプログラム選曲)

イントロ演奏で各曲の頭を聞きながら、聞きたい曲番を記憶することができます。



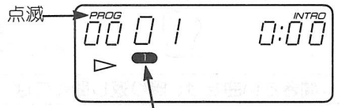
1. INTRO(イントロ)ボタンを押す。

- イントロ演奏を始めます。

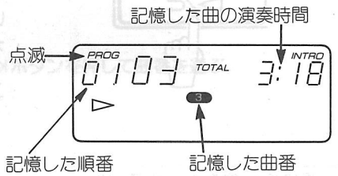
2. PROG(プログラム)ボタンを押す。

3. 記憶したい曲を演奏中に、SET(セット)ボタンを押す。

- SETボタンを押すと、次の曲のイントロ演奏に切り替わります。
- 最後の曲までイントロ演奏すると、自動的に停止します。
- イントロプログラム機能を使っているときは、▷/C(プレイ・リピート)ボタンは動作しません。



イントロ演奏中の曲番が点滅



イントロプログラム選曲を止めるには

□ ボタンを押します。

- INTRO表示が消え、イントロ演奏が止まります。ただし、プログラム選曲の記憶は残ります。

■ディスプレイの表示について

DISPLAY(ディスプレイ)ボタンを押すたびに、ディスプレイの時間表示が次のように切り替わります。

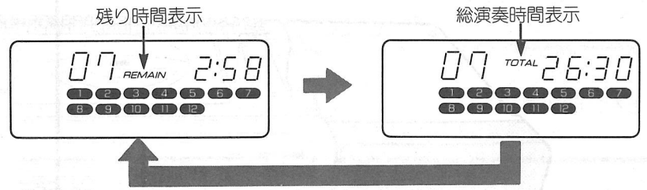
停止中に押すと

曲ごとの演奏時間を表示します。

- 曲番表示は⏮/⏪または⏩/⏭ボタンを押して変えます。

(例)7曲目に2分58秒の曲が入っているとき
- 曲ごとの演奏時間

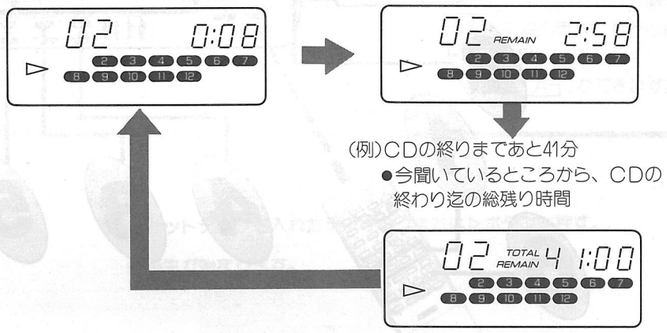
(例)CDの始めから7曲目までが、26分30秒のとき
- CDの始めから、今表示している曲番を含む総演奏時間



演奏中に押すと

(例)2曲目の頭から8秒経過
- 曲ごとの演奏経過時間

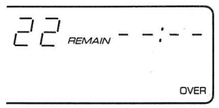
(例)2曲目の終りまであと2分58秒
- 曲ごとの残り時間



21曲以上入ったディスクでは

"−−:−−"/"OVER"が表示されます。

(例)

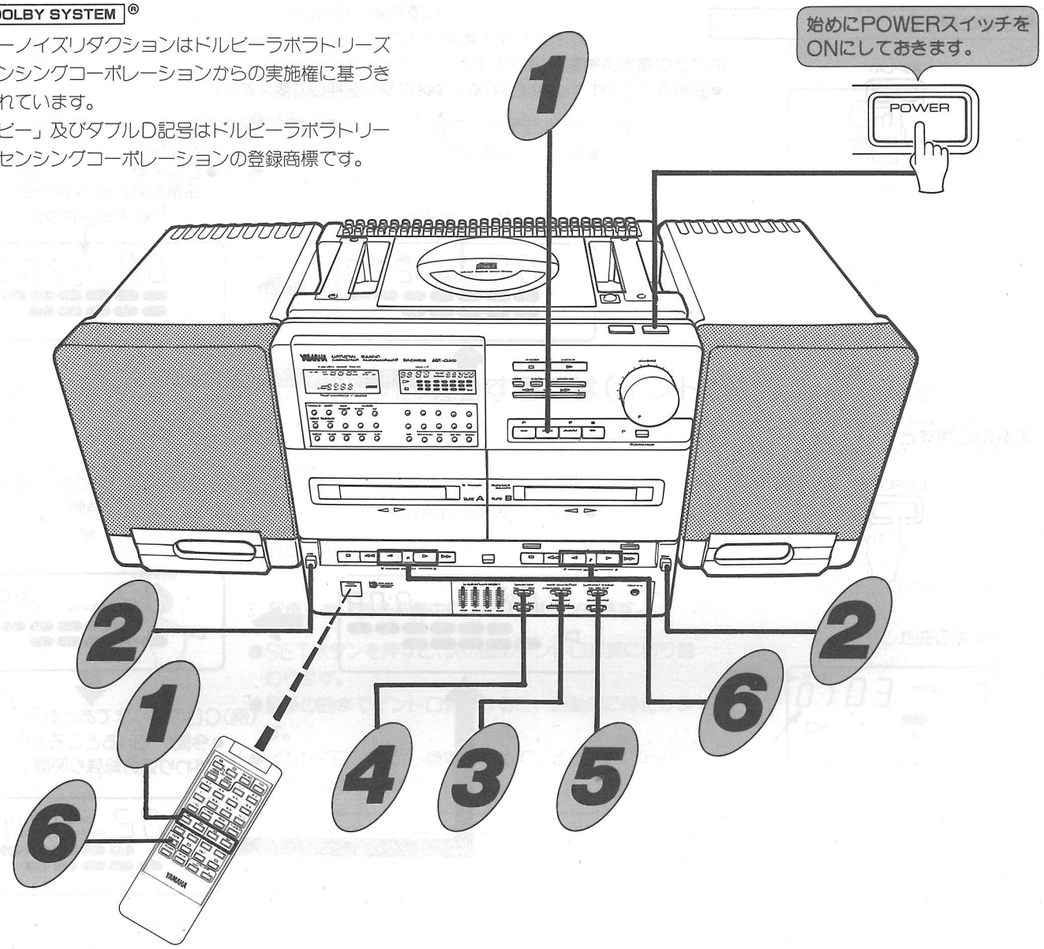


- お使いになるCDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に、曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。
- 21曲以上入ったCDをお使いのときは、次のような場合、時間が表示されません。
  ①停止中、21曲目以降の曲番を表示させた場合。
  ②21曲目以降を演奏中に、残り時間を切り替えた場合。
  ③プログラム選曲で21曲目以降の曲番を記憶した場合。
  (記憶した曲の積算時間が100分を越えた場合も、時間は表示されません。)

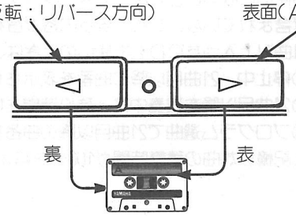
8 テープの再生

DOLBY SYSTEM®

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。



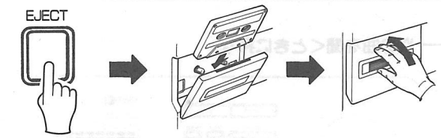
カセットテープの走行方向



1

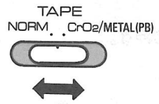
TAPEボタンを押す。

2



TAPE AまたはTAPE BのEJECT ボタンを押し、カセットテープを入れ、カセットホルダーを閉じる。

3



TAPEセレクタースイッチを切り替える。

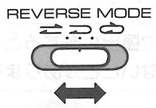
CrO_2/METAL(PB)	メタルテープ、クロームテープを使うとき
NORM	ノーマルテープを使うとき

●TAPE AとTAPE Bが同時に切り替わります。
●メタルテープは、再生時だけ使用できます。

4

DOLBY NRスイッチを切り替える。
●ドルビーNRシステム(ドルビーB)で録音するときは、ONにします。

5

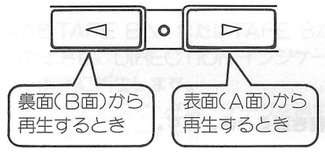


REVERSE MODEスイッチを切り替える。

⇄	片面だけ再生するとき
⇄	両面を再生するとき
⟲	両面を繰り返し再生するとき

●REVERSE MODEスイッチが ⟲ の時のみ、TAPE AとTAPE Bの両方にカセットテープを入れると、連続再生(↱TAPE B→ TAPE A↰)ができます。(☞34ページ)

6



カセットテープを入れたデッキの◁または▷ボタンを押す。
●再生が始まります。

テープを止めるには

□ボタンを押す。

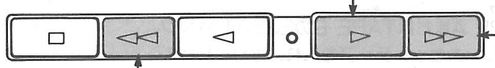
ご注意

●2つ以上の操作ボタンを、同時に押さないでください。同時に押すと、正しく動作しないことがあります。
●操作ボタンは、ゆっくりと確実に押してください。正しく動作しないときは、もう一度押してみてください。

■曲の頭出しをするには(頭出し再生)

今聞いている曲を飛び越して前後の曲を聞くことができます。
●TAPE A, TAPE B共、操作は同じです。

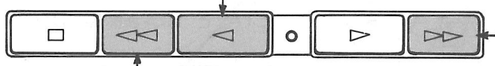
1.テープの表面(A面)を再生しているとき



次の曲を聞くときに押す。

今聞いている曲を聞き直すときに押す。

2.テープの裏面(B面)を再生しているとき



今聞いている曲を聞き直すときに押す。

次の曲を聞くときに押す。

●テープ再生時の曲の頭出しについて

●再生方向と同方向の早送りボタンを押したときの頭出し
早送りボタンを、1回押すと次の1曲目
2回押すと次の2曲目
3回押すと次の3曲目
4回押すと次の1曲目
(以下繰り返し) の頭出しを行います。

●再生方向と逆方向の早送りボタンを押したときの頭出し
早送りボタンを、1回押すと今聞いている曲
2回押すと1つ前の曲
3回押すと2つ前の曲
4回押すと今聞いている曲
(以下繰り返し) の頭出しを行います。

●頭出し再生ができないのは

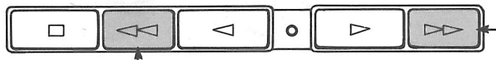
頭出し再生は、ミュージックテープの約4秒間の無録音スペースを検出して動作します。次のようなテープを再生したいときは、正常な動作をしないことがあります。

●会話や落語等、音声が途切れているテープ。
●曲全体の録音レベルが低すぎる(音が小さい)テープ。
●曲間が短いテープ(約3秒以下)。
●音楽で、ピアニシモの部分(音が非常に小さい部分)が長く続く曲や、演奏や歌声が全く入っていない部分のあるテープ。
●曲間に大きな雑音とか、ハム音が録音されているテープ。

曲の始めの部分や終りの部分で頭出しをすると、1つ目の無録音部分でテープが止まらないことがあります。

■テープを速く巻き取るには

停止中に▷▷または◁◁ボタンを押す。
聞きたい部分まで巻き取ったら、□ボタンを押します。

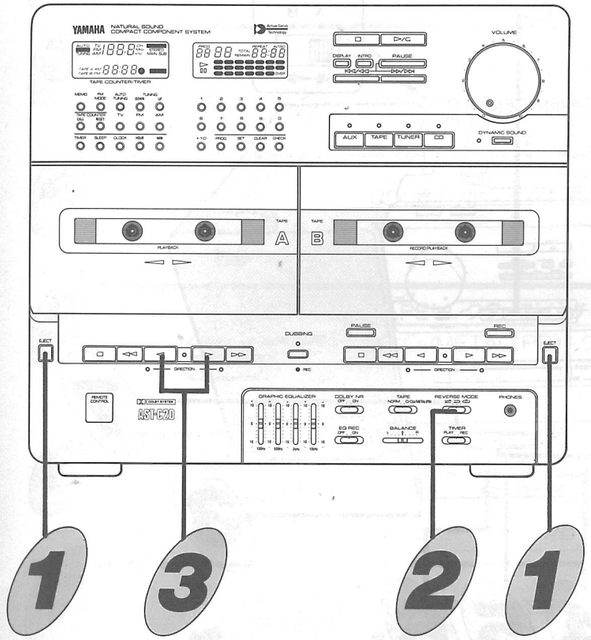


右側のリールに巻き取るとき、押す。

左側のリールに巻き取るとき、押す。

■リバースモードと連続再生のしかた

TAPE AとTAPE B両方のデッキにテープを入れると、連続再生ができます。REVERSE MODEスイッチを切り替えると、次のように再生されます。

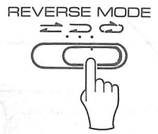


●TAPE AからTAPE Bへ、またはTAPE BからTAPE Aへ切り替わったときは、DIRECTION インジケーターが点灯している面から自動的に再生します。
●REVERSE MODEスイッチは、テープを再生する前や、再生中でも切り替えることができます。
●REVERSE MODEスイッチが ⇄ のときは、□ボタンを押すまで連続再生を繰り返します。

TAPE AとTAPE Bの連続再生をするには

1 両方にテープを入れる。

2 REVERSE MODEスイッチを"⇄"にする。



3 ◁ ○ ▷ ボタンを押す。

●TAPE Aの ▷ を押すと…
TAPE A → TAPE B → A面 → B面 → A面 → B面
(くり返し再生)

●TAPE Aの ◁ を押すと…
TAPE A → TAPE B → TAPE A
B面 → A面 → B面 → A面
(くり返し再生)

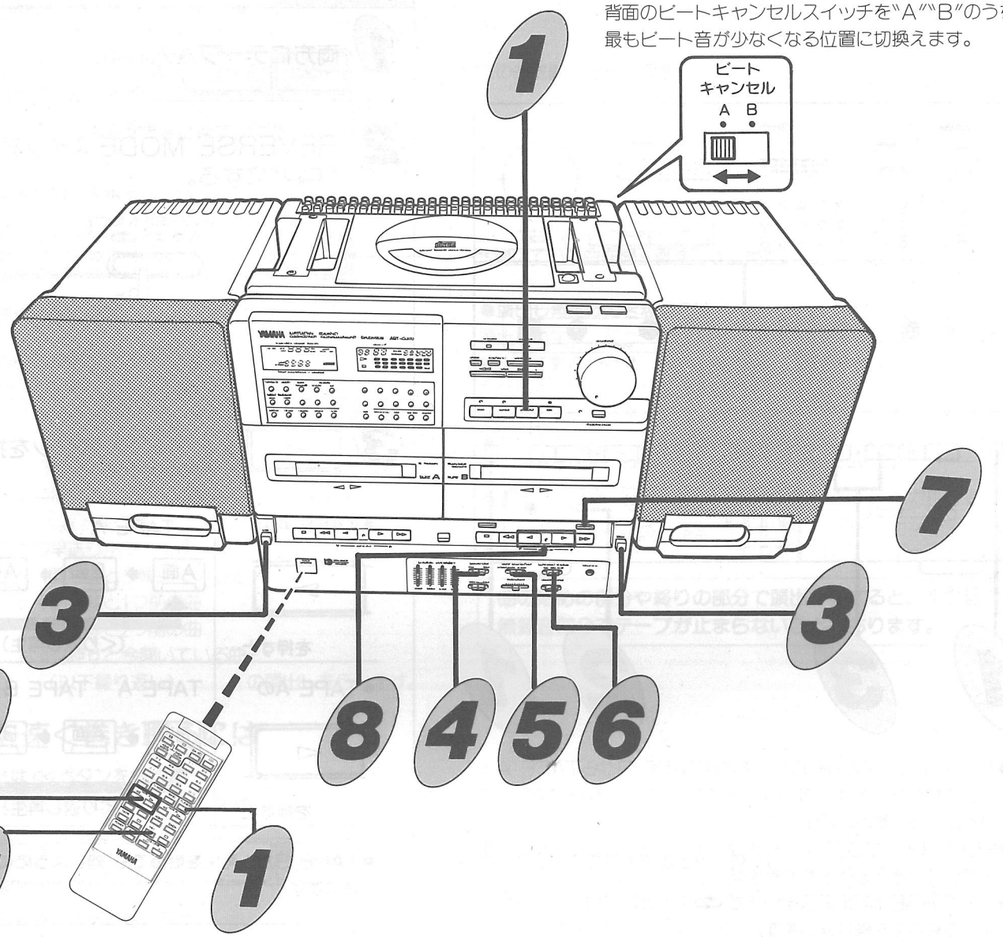
●TAPE Bから再生を始めても、同じようにくり返し再生されます。

9 録音のしかた

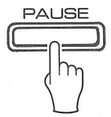
テレビまたはFM/AM放送の録音

● AM放送を録音中にビート音（〝ピー〟または〝ピー〟という音）が出るときは

背面のビートキャンセルスイッチを〝A〟〝B〟のうち最もビート音が少なくなる位置に切換えます。



録音を一時的に止めるには



PAUSE(一時停止)ボタンを押す。
●その位置で一時停止します。
●録音を再び始めるには録音している方の▷ボタンを押します。

録音を止めるには

□ボタンを押す。

モニターするには

録音している音をスピーカーやヘッドホンで聞くことができます。
VOLUMEツマミで音量を調整してください。

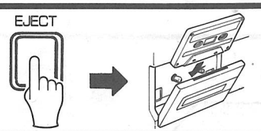
1

インプットセレクターのTUNER(チューナー)ボタンを押す。

2

テレビまたはラジオを受信状態にする。
(☞17ページ)

3



TAPE Bにカセットテープを入れる。
●カセットテープは、必ず録音する面に消去防止用ツメが付いたものを使用してください。

4

DOLBY NR(ドルビー ノイズリダクション)スイッチを切り替える。
●ドルビーNRシステム(ドルビーB)で録音するときは、ONにします。

5

TAPE(テープ)セレクタースイッチを切り替える。

CrO_2/METAL(PB)	クロームテープを使うとき
NORM	ノーマルテープを使うとき

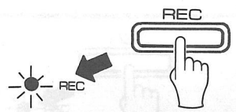
※録音時にはメタルテープは使えません。

6

REVERSE(リバース) MODE(モード)スイッチを切り替える。

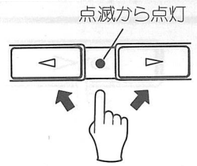
⇄	片面だけ録音するとき
⊃	両面に録音するとき

7



REC(レック)(録音)ボタンを押す。
●RECインジケーターが点灯します。

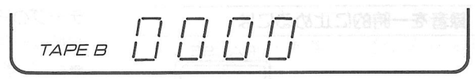
8



録音する方向の◁または▷ボタンを押す。
●録音が始まります。

■テープカウンターについて

テープカウンターを利用すると、録音するときの目安となり、大変便利です。

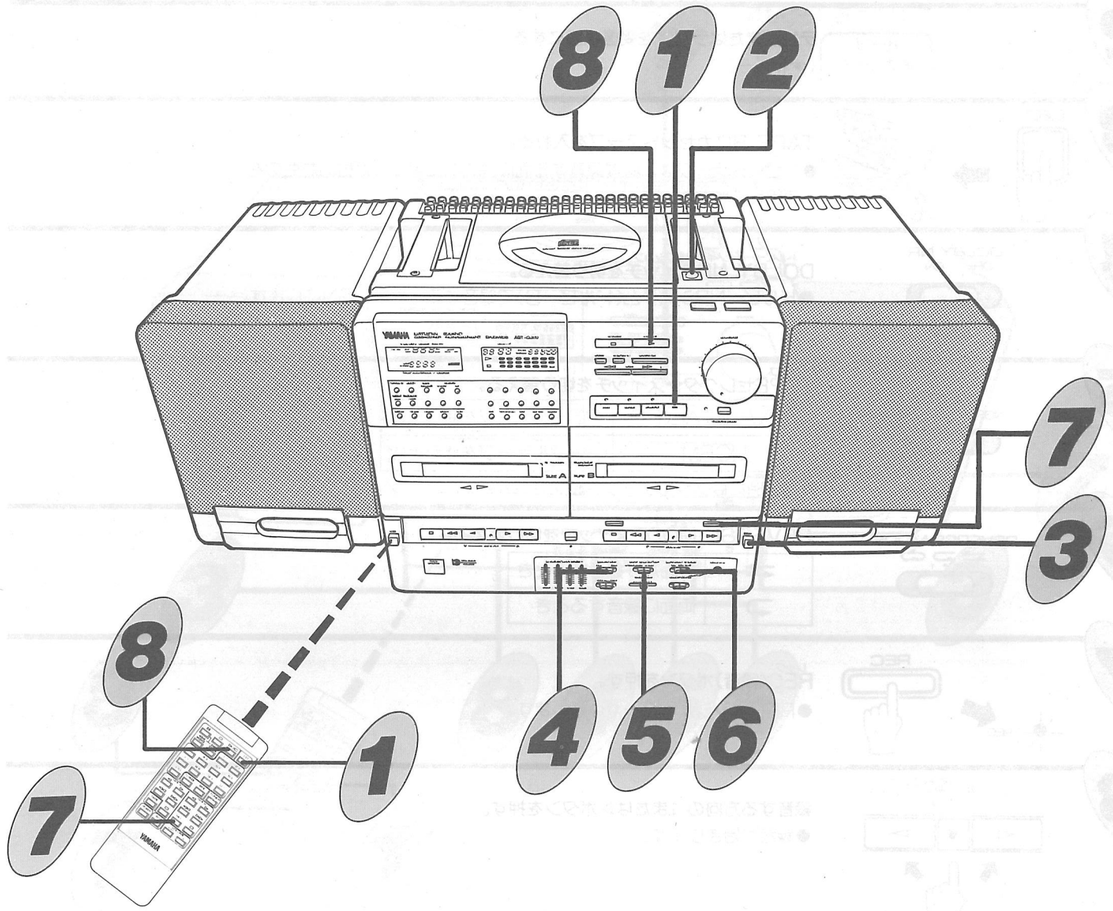


1. TAPE COUNTER CALLボタンを押す。
カウンターは、TAPE AとTAPE Bの切換ができます。

2. TAPE COUNTER RESETボタンを押す。
TAPE Aまたは、TAPE Bの表示されている方をリセットすることができます。(この場合、TAPE B。)

●CLOCK(時計)ボタンを押すと、時計表示に戻ります。
●電源を切ったとき、自動的に時計表示になります。
●時計表示でも、デッキBが動作しているとテープカウンターも動作しています。
●テープがAだけに入っている時は、自動的にAのカウンター、テープがBだけに入っている時は、自動的にBのカウンターになります。
●A, B両方にテープが入っている時は、TAPE COUNTER CALLボタンで選択することができます。

CDから録音するには



録音を一時的に止めるには

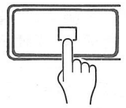
テープのPAUSEボタンを押す。

録音は一時停止しますがディスクの演奏は続けられます。

●再び録音を始めるには録音方向の ▷ ボタンを押します。

●CDをストップ または一時停止にすると、デッキはポーズ状態になります。

録音を止めるには

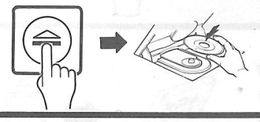


テープのロボタンを押す。

1

CDボタンを押す。

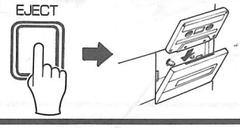
2



録音したいディスクを入れる。

●あらかじめ、プログラム(☞25ページ)をしておくと聞きたい曲だけを録音できます。

3

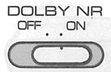


TAPE Bにカセットテープを入れる。

●録音時には、メタルテープは使えません。

●カセットテープは、必ず、録音する面に消去防止用ツメが付いたものを使用してください。

4



DOLBY NR スイッチを切り替える。

●ドルビーNRシステムで録音するときは、ONにします。

5

TAPEセレクターを切り替える。

CrO_2/METAL(PB)	クロームテープを使うとき
NORM	ノーマルテープを使うとき

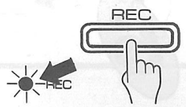
●録音時には、メタルテープは使えません。

6

REVERSE MODEスイッチを切り替える。

⇄	片面だけ録音するとき
⊃	両面に録音するとき

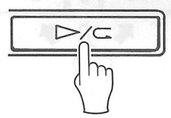
7



REC(録音)ボタンを押す。

●RECインジケーターが点灯し、テープ走行インジケーターが点滅します。(ポーズ状態)

8



CDの ▷/C ボタンを押す。

●ディスクの演奏が始まる約2秒前にテープの録音が始まります。

●DIRECTIONインジケーターのついている面に録音されます。

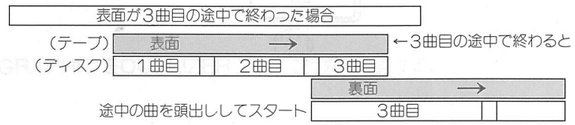
●両面に録音するときは、表面(A面)から始めてください。

■CDリプレイ録音について

テープの両面に続けて録音するとき、テープが反転するときの音切れを防ぐ機能がCDリプレイ録音です。

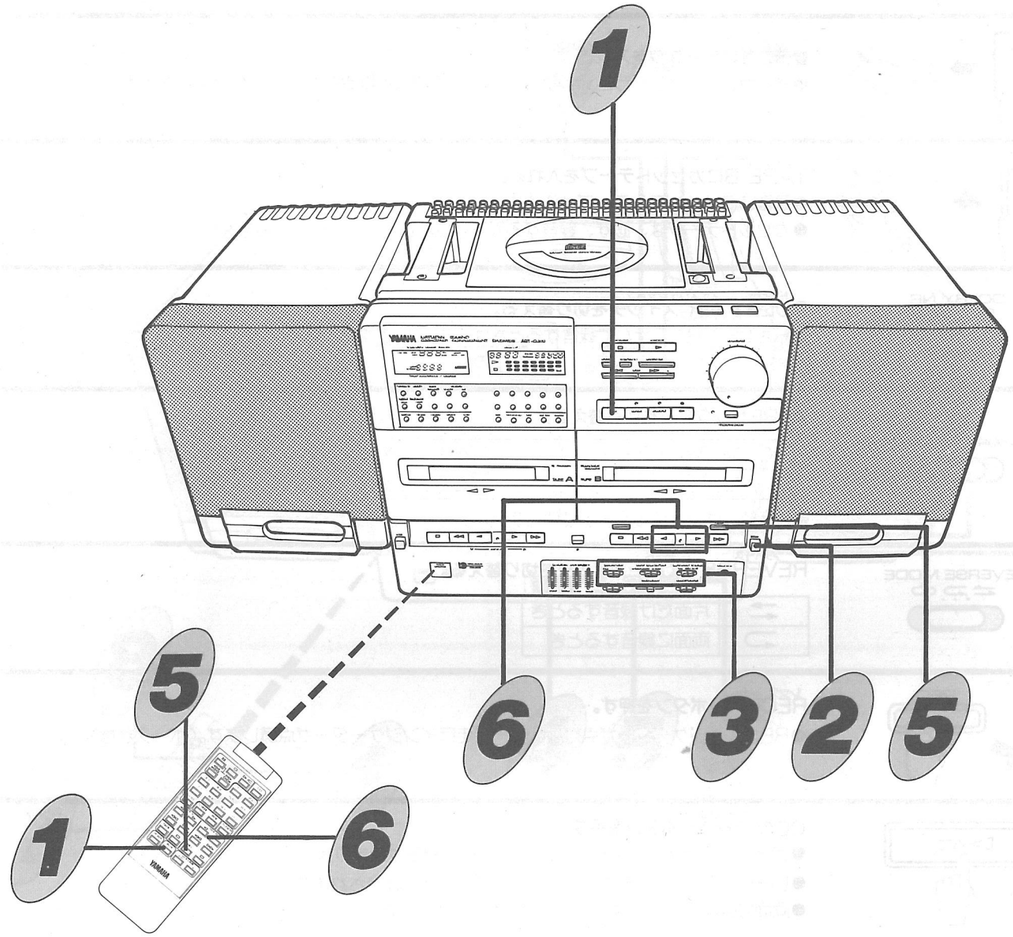
録音している曲の途中でテープが裏面(B面)に反転すると、表面(A面)で曲切れした曲を自動的に頭出しして、裏面(B面)への録音が始まります。

このため、裏面(B面)の頭からは曲切れのない録音ができます。



外部機器の録音

リアパネルのAUX入力端子に接続された、AVセレクターAVS-C20(別売)などの外部機器出力を録音するとき



録音を一時的に止めるには

テープのPAUSEボタンを押す。

●再び録音を始めるには、録音方向の ▷ ボタンを押します。

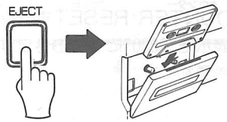
録音を止めるには

テープの□ボタンを押す。

1

エーユーエックス
AUX ボタンを押す。

2

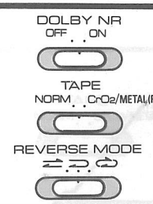


録音用カセットテープをTAPE Bに入れる。

●録音時にはメタルテープは使えません。

●カセットテープは、消去防止用ツメが付いたものを使用してください。

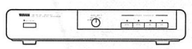
3



DOLBY NR、TAPEセレクタースイッチ、REVERSE MODEスイッチを使用テープに合わせて切り替えます。

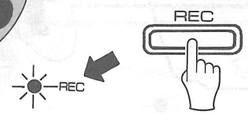
(☞36ページ)

4



外部機器の電源を入れ、再生状態にする。

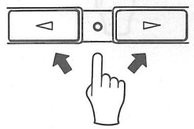
5



REC(録音)ボタンを押す。

●RECインジケーターが点灯します。

6



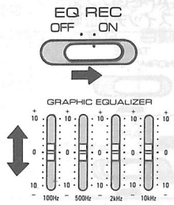
録音する方向の▷ボタンを押す。

●録音が始まります。

★ EQ REC(イコライザー録音)について(AST-C20のみ)

AST-C20では、GRAPHIC EQUALIZERで調整(☞14ページ)した信号を録音することができます。

それぞれの録音のしかた(☞35~40ページ)で、RECボタンを押す前に次の操作をしてください。



1. EQ RECスイッチをONにする。

2. GRAPHIC EQUALIZERツマミで音質を調整する。

10 テープ編集(ダビング)のしかた

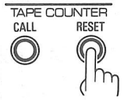
テープ編集(ダビング)のしかた

TAPE Aに再生用テープ、TAPE Bに録音用テープを入れ、テープ編集ができます。

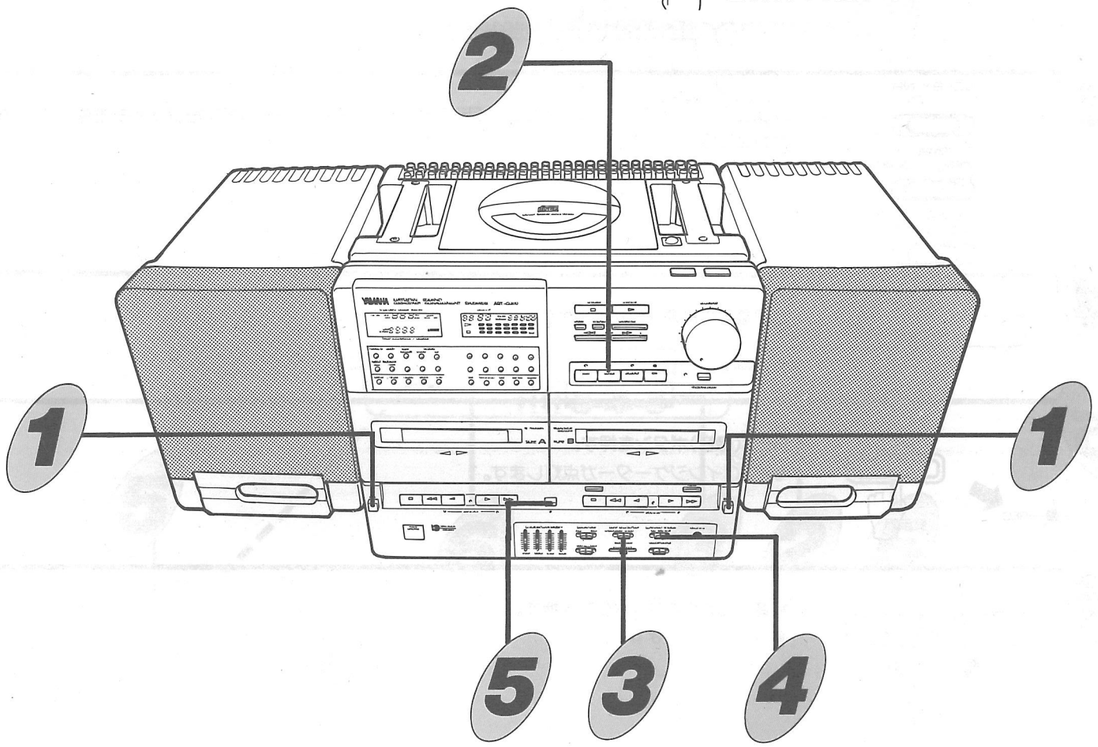
あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

■テープ編集を始める前に

①TAPE COUNTER CALLボタンを押してディスプレイをカウンター表示にします。



②TAPE COUNTER RESETボタンを押して、カウンター表示を"0000"にしておきます。あとで巻き戻すとき便利です。



■録音用と再生用に、長さの違うテープを使うと

●片面だけ編集しているとき、
どちらかのテープが最後まで巻き取られると、両方とも自動的に停止します。

●両面を編集しているとき、
どちらかのテープが最後まで巻き取られ、反転して、もう一方は単独にそのまま走行を続けます。

●テープ編集のときに、TAPE AにTAPE Bよりも短いテープを使用する場合は、REVERSE MODEスイッチを必ず"⇄"または"⊃"の位置にセットしてください。
("⇄"の位置にセットすると何回も録音が繰り返されます。)

■TAPE AとTAPE Bにちがう種類のテープを入れると

TAPEセレクタースイッチを、TAPE Bで使うテープの種類に合わせてください。ただし、音質は下表のようになります。

テープデッキの種類		TAPEセレクタースイッチの位置	録音される音質
TAPE A(再生用)	TAPE B(録音用)		
ノーマルテープ	クロームテープ	TAPE NORM CrO2/METAL(PB)	高音が弱く録音されます。
メタルテープ クロームテープ	ノーマルテープ	TAPE NORM CrO2/METAL(PB)	高音が強く録音されます。

1

TAPE AとTAPE Bにカセットテープを入れる。
●録音用と再生用には、同じ種類のテープを使用してください。
●録音用には、メタルテープは使えません。

2

TAPEボタンを押す。

3

TAPEセレクタースイッチを切り替える。

CrO_2	クロームテープを使うとき
NORM	ノーマルテープを使うとき

4

REVERSE MODEスイッチを切り替える。

⇄	片面だけ録音するとき
⊃	両面に録音するとき

5

DUBBINGボタンを押す。
インジケーターが点灯し、TAPE AからTAPE Bに編集が始まります。

●編集は、DIRECTIONインジケーターが点灯している側から始まります。
●編集が終るとTAPE A, TAPE B共に停止します。
●TAPE A、もしくはTAPE Bのどちらかが先に終わるとTAPE A, TAPE B共に停止します。
●ダビングを途中で止めるときは、TAPE AまたはTAPE Bの□ボタンを押します。
このとき、TAPE A, TAPE Bは同時に停止します。

●編集中に、PAUSEボタンを押すと、TAPE A、TAPE B共にポーズ状態となります。再びダビングする時は、DUBBINGボタンを押してください。
●編集をやめるには□ボタンを押します。
●テープ編集するときは、自動的に下記の動作となります。

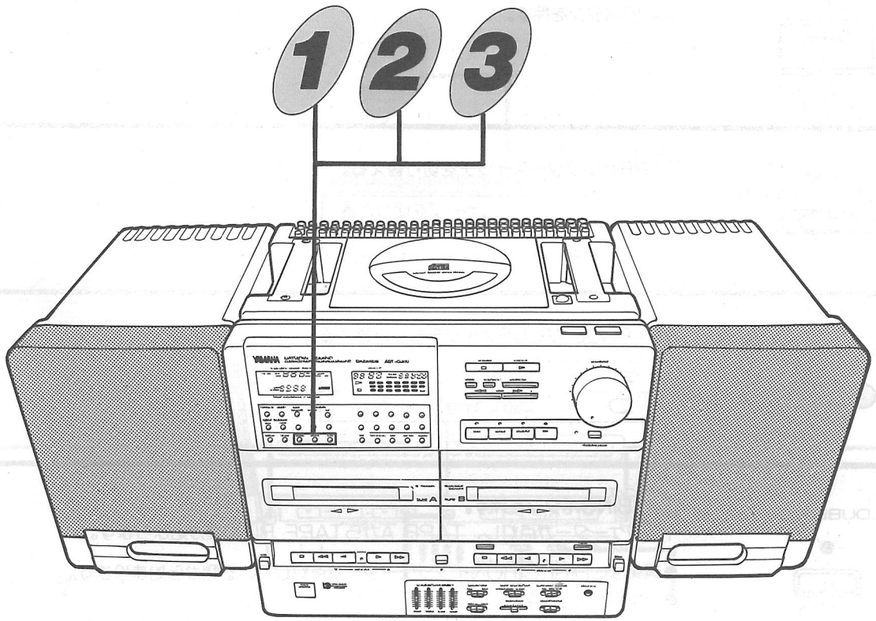
TAPE A (再生)		TAPE B (録音)
ドルビーNR付	➡	ドルビーNR付
ドルビーNRなし	➡	ドルビーNRなし

11 タイマーの使い方

現在時刻のセット

●電源コードを接続すると、ディスプレイの時計表示部が"AM0:00"で点滅します。

●現在時刻をセットしないと、タイマーの設定ができません。
●最初にCLOCK(時計) ボタンを押して時計の機能を開始させます。

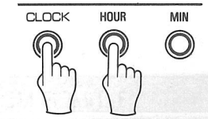


●AM/PM表示について
AMとPMの表示をまちがえないように合わせてください。
"AM0:00"→夜の12時
"PM0:00"→昼の12時
を表わします。

●途中でまちがえたときや、合わせ直すときはもう一度始めからやり直してください。

●停電すると
時計表示が消えます。
再び通電すると時計表示が点滅しますので、もう一度時刻を合わせ直してください。

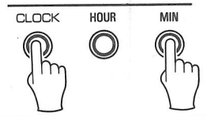
1 「時」を合わせる



CLOCKボタンを押したまま、HOUR(時)ボタンを押す。
●1回押すと1時間、2秒以上押し続けると、連続して進みます。

AM 9:00

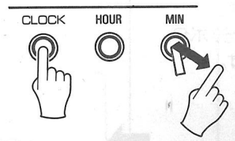
2 「分」を1分前に合わせる



CLOCKボタンを押したまま、MIN(分)ボタンを押す。
●1回押すと1分、2秒以上押し続けると、連続して進みます。

AM 9:10

3 時報に合わせる



CLOCKボタンを押したまま、MIN(分)ボタンを時報(0秒)と同時に1回押して離します。
●分の表示が1つ進んで0秒から時計が動き始めます。
●時刻合わせは、1分以内に行なってください。1分以上たつと分の数字が進んでしまいます。

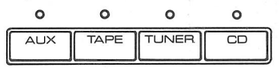
AM 9:11

スリープタイマー

スリープタイマーをセットしておくと、CDやテープ、ラジオやテレビの音声をセットした時間だけ聞くことができます。

そのまま、おやすみになってしまっても電源が自動的に切れるので大変便利です。

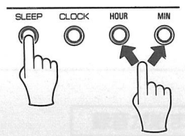
1.聞きたいソースを選ぶ



インプットセレクターを押し、選んだソースを演奏状態にする。

2.スリープ時間のセット

SLEEPボタンを押したまま、HOUR(時)ボタンやMIN(分)ボタンを押して時間を合わせます。



●HOUR(時)ボタンを押すたびに
→1→2→3→0→

●MIN(分)ボタンを押すたびに
→0→15→30→45→

と変ります。

●SLEEPボタンを押しただけのときは、スリープ時間は自動的に1時間に設定されます。

3.セットした時間になると、自動的に電源が切れます。

●スリープ時間をセットしたあとでも、タイマー時刻を設定し、TIMER SETを押しておけば、次の日の目覚ましをすることができます。(☞45ページ)
●スリープ動作中に残り時間を確かめるにはSLEEPボタンを押します。
●スリープ動作を途中でやめるにはPOWERスイッチを1回押します。(1回目でスリープインジケーターは消えます。)2回目にPOWERスイッチを押すと、電源が切れます。この時、タイマー設定をする場合は、TIMER SETボタンを押すと電源が切れ、タイマー動作が始まります。

目覚し再生(タイマー演奏)や留守録音のしかた

■現在時刻を確認してから、タイマーセットをしてください。

	1.聞きたいソースを選ぶ	2.タイマー時刻のセット	3.TIMER MODEスイッチのセット	4.TIMER SETスイッチを押す	5.タイマーがセットされた時間になると	6.止めるには
目覚し再生	CDサウンド CDを押した後、聞きたいディスクを演奏状態にして止める。 (☞23ページ)	TIMERボタンを押したまま、HOUR(時)ボタンやMIN(分)ボタンを押して時刻を合わせます。 TIMER SLEEP CLOCK HOUR MIN	TIMER PLAY REC PLAYにする	TIMER SET 点灯 ●続けて再生したいときは、スリープタイマーをセットしてください。 (☞44ページ)	CDサウンドの目覚し再生が始まります。	POWER POWERスイッチを2回押す。
目覚し再生	ラジオやテレビ TUNERを押した後、聞きたい放送を選局。 (☞17ページ)				ラジオやテレビの音声放送を受信します。	
目覚し再生	テープの再生 TAPEを押した後、聞きたいテープを入れ、聞きたい曲の頭出しをする。 (☞31ページ)				頭出しされた曲からテープ再生が始まります。	
留守録音	ラジオやテレビ TUNERを押した後、TAPE Bに録音用テープを入れ、希望局を選局しておく。 (☞17ページ)	放送を留守録音するときは、電源を一度ON, OFFしてみて、放送が受信されていることを確認してください。	TIMER PLAY REC RECにする		録音が始まります。 ●タイマー録音が終ったらカセットテープを取り出してください。	

●タイマー時刻の記憶について
タイマー時刻は、電源コードを抜いたり停電にならなければ、新しく設定するまで記憶しています。

●タイマー時刻を確かめるには
TIMERボタンを押します。

●タイマー動作を止めるには
もう一度TIMER SETスイッチを押します。
タイマーインジケーターが消えます。(POWERスイッチを押してもタイマー動作を止めることができます。)

●目覚まし再生のときは60分たつと自動的に電源が切れます。
(テープで再生のときもテープの長さに関係なく60分たつと自動的に電源が切れます。)
●留守録音のとき、60分より短いテープの場合、60分たつと自動的に電源が切れます。60分より長いテープの場合も60分で電源が切れます。

●CDの目覚し再生中に
タイマープレイで◕マークが点灯している時は、ディスクを交換してディスクホルダーを閉めれば、自動的に再び演奏が始まります。

12 ご参考に

CD(コンパクトディスク)の取り扱いかた

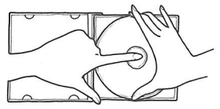
●本機には、COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

●規格外のコンパクトディスクを本機にセットすると、正しく演奏できなかったり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。規格外のディスクはご使用にならないでください。

●ケースからの取り出しかた

1.右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。

2.左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ちあげます。



3.できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。

●ディスクのセット

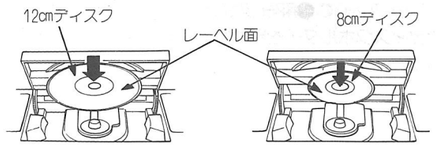
コンパクトディスクは、必ず文字の書かれているレーベル面を上にしてディスクホルダーの中央に正しくセットしてください。

＊コンパクトディスクの演奏は片面のみです。

＊ディスクホルダーにセットできるディスクは1枚だけです。

●市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。

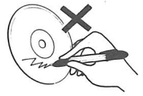
●ディスクシート等を使用したディスクの場合は、正常に演奏できないことがあります。



●取り扱いの注意

●信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音にはまったく影響ありません。

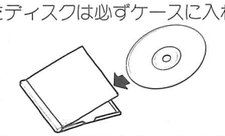
●レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



●曲げたりしないでください。

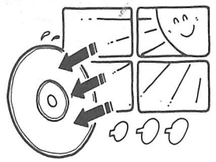
●表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。

●演奏を終ったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



●レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水に濡れた布で拭くことも避けてください。

●直射日光が当る場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを温度の高い場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



カセットテープについて

市販のカセットテープは多種多様の製品がありますが、その構造については規格が統一されており、各メーカーのものが共通に使用できます。

■録音時間による分類

カセットテープの型名は、両面往復時間を"分"単位で表示してあります。

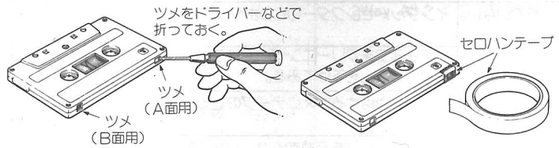
種　類	録音再生時間		テープの長さ(m)
	片道(分)	往復(分)	
C-46	23	46	68
C-60	30	60	90
C-90	45	90	135

※C-120テープやリール付デザインのテープは、テープが薄いため音質面でも音楽録音には適当ではありません。
できるだけ上記のテープをご使用ください。

■大切な録音をあやまって消さないために

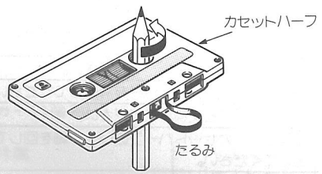
カセットハーフには、大切な録音をあやまって消さないように消去防止用の穴があります。録音後、この穴のツメをドライバーなどで取り去ると重ねて録音できませんから、録音内容をいつまでも保存することができます。

また、ツメを折ったテープに再び録音したい場合には、セロハンなどで穴をふさいでください。



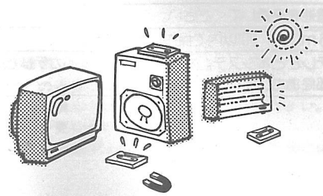
■テープのたるみを直す

テープがとび出したり、たるんだままご使用になりますと、キャプスタンやピンチローラーにテープがからみついたりする原因となります。こんな場合には、カセットハーフのリール軸に鉛筆などを差し込んで巻き取り、テープのたるみを直してからご使用ください。



■カセットテープの保管は

カセットケースに入れ、直射日光(高温)、湿気および磁気のあるところ(テレビやスピーカーの近く)を避けて保管してください。高温や湿気はテープをいため、磁気録音内容を消してしまいます。

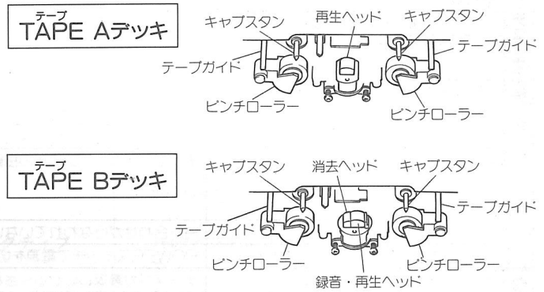


デッキ部のお手入れ
(末永くご愛用いただくために)

デッキを長時間ご使用になると、キャプスタン、ピンチローラー及びヘッドの汚れや帯磁が原因で、音がかすれたり、ノイズが入ったり、音がふるえたりしてきます。市販の綿棒、クリーニング液やクリーニングテープ、ヘッドイレーサーで定期的にクリーニングや消磁をしてください。クリーニングはおよそ10時間ごとに、消磁は20～30時間を目安に行なってください。特に大切な録音をするときや、古いテープを使った後もクリーニングしておきましょう。

●クリーニングの際は、ヘッドに無理な力を加えないようご注意ください。

●消磁の際は、ヘッドイレーサーの説明書を参照してください。



著作権について

あなたが、本機で録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC・音権協)

北海道支部 TEL.011(221)5088
〒060 札幌市中央区北1条西3丁目
大和銀行札幌ビル

東北支部 TEL.022(264)2266
〒980 仙台市中央2-1-7
仙台三和ビル

大宮支部 TEL.0486(43)5461
〒330 大宮市宮町2丁目51
大宮蓮見ビル

本部 TEL.03(502)6551
〒105 東京都港区西新橋1丁目7-13

東京支部 TEL.03(562)4455
〒104 東京都中央区銀座1丁目15-6
共同ビル銀座1丁目3F

北陸支部 TEL.0762(21)3602
〒920 金沢市香林坊2-3-25
金沢日産生命ビル

横浜支部 TEL.045(662)6551
〒231 横浜市中区日本大通り60
朝日生命横浜ビル

静岡支部 TEL.0542(54)2621
〒420 静岡市追手町9-22
読売静岡ビル

中部支部 TEL.052(586)1155
〒450 名古屋市中村区名駅4-27-20
名古屋三井ビル南館

京都支部 TEL.075(251)0134
〒600 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8
京都三井ビル

大阪支部 TEL.06(244)0351
〒542 大阪市南区南船場4-3-11
豊田ビル

四国支部 TEL.0878(21)9191
〒760 高松市寿町2丁目2番10号
住友生命高松寿町ビル3F

中国支部 TEL.082(249)6362
〒730 広島市中区大手町1-2-1
広島東京海上ビル2F

九州支部 TEL.092(441)2285
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1
福岡朝日ビル

13 故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電機機器製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

	症　状	原　因	処　置
アンプ部	POWERスイッチを押しても電源が入らない。	ACコードが抜けている。	ACコードを電源に差し込む。
	スピーカーの片方が鳴らない。	BALANCEツマミがLかRのどちらかにずれている。(★AST-C20のみ)	BALANCEツマミを正しく調節しなおしてください。
		スピーカーコードの接続が不完全。	スピーカーコードを正しく接続しなおしてください。
チューナー部	FM放送やテレビ音声に"パリパリ"という音が入る。(電波の弱い地域ほど著しい)	自動車などのイグニッションノイズ。	FM/TV専用アンテナをできるだけ高く道路から離れた位置に設置し、同軸ケーブルを使用してください。
		サーモスタットつき電機器具の雑音。	
	ステレオ放送、音声多重放送になると雑音が多くなる。	放送局から離れた地域や障害物があってアンテナ入力が弱い。	アンテナの接続を確認してください。
			FM/TV専用アンテナ(できれば多素子のもの)を設置してください。
	ステレオ放送、音声多重放送受信中MULTI/STEREOインジケーターが点滅し、雑音も多い。	アンテナ入力の不足。	受信地域の電界強度に合ったアンテナを設置してください。
	プリセット選局ができない。	プリセット(メモリー)が消えている。	再度プリセットしてください。
	テレビ画面に縞模様や色ムラが出る。	本機のテレビ音声とテレビ画面が別々のチャンネルを受信している。	本機のテレビ音声とテレビのチャンネルを同じにしてください。
	AM放送に"ジー""ザー""ガリガリ"などの連続雑音が出る。	雷などによる雑音、または螢光燈、モーター、サーモスタットつきの電機器具による雑音。	AM屋外アンテナを張りアースをとると減少しますが、完全に除去するのは困難です。
		テレビ、マイコン等のそばで使用している。	テレビ、マイコン等から離して使用してください。
	AM放送の感度が低い。	電波が弱いか、アンテナの接続が確実でない。	AMループアンテナを確実に接続してください。
			AMループアンテナの方向を変えてみてください。
			屋外にAM専用アンテナを張ってください。
	タイマーをセットできない。	時刻合わせが行なわれていない。	時刻合わせを行なってください。
	タイマー動作が予定どおりに行なわれない。	POWERスイッチで電源を切った。	タイマーセット後はTIMER SETスイッチで電源を切ってください。
CDプレーヤー部	ディスクを入れても演奏できない。	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		ディスクがひどく汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
	音が出ない。	インプットセレクターが正しくセットされていない。	インプットセレクターのCDボタンを押してください。
	音がと切れる。(同じ場所でと切れる。)	・ディスクが汚れている。 ・ボリュームが大きすぎる。	・ディスクをクリーニングしてください。 ・ボリュームを下げてみる。
カセットデッキ部	録音・再生時にテープが回らない。	テープがたるんでいたため、ピンチローラーにまきついている。	テープを使用するまえにテープのたるみを鉛筆などで取ってください。
	録音できない。	カセットテープのツメが折られている。	カセットテープを交換するか、ツメの部分をセロハンテープなどでカバーしてください。
		ヘッドが汚れている。	ヘッドをクリーニングしてください。
	音がかすれる。音がと切れる。	ヘッドが汚れている。	ヘッドをクリーニングしてください。
		ヘッドが帯磁している。	ヘッドイレーサーでヘッドを消磁してください。
		古いテープを使っている。	良質なテープと交換してください。
	再生音の音質が悪い。	TAPEセレクターやドルビーNRのセットが違っている。	録音したときと同じポジションにセットしてください。
	左右のバランスが悪い。	ヘッドが汚れている。	ヘッドをクリーニングしてください。
	雑音が多い。	ヘッドが汚れている。	ヘッドをクリーニングしてください。
		ヘッドが帯磁している。	ヘッドイレーサーでヘッドを消磁してください。
		古いテープを使用している。	良質なテープと交換してください。
	録音または再生の途中でストップしてしまう。	テープがゆるんだり飛び出している。	鉛筆などでカセットハーフのリール軸を回して、テープを張りなおしてください。
		テープに折れや傷がある。	新品テープと交換してください。
		エンドレステープを再生している。	エンドレステープは再生しないでください。
	選曲できない。	無録音部分が短い。	頭出し機能は、無録音部分が4秒以上ないとはたらきません。
		曲の途中に録音レベルが非常に低いところがある。	
		エアチェックなどで会話が録音されている。	
リモコン	リモコンで操作できない。	電池が消耗している。	電池を交換してください。
		リモコン操作の距離、角度が適切でない。	6m以内、20°以内で操作してください。
	リモコンを操作するとテレビが誤動作する。	ワイヤレスリモコン付のテレビのそばで使用している。	テレビと本システムを離してセットするかテレビのリモコン受光部におおいをしてください。

参考仕様

	★AST-C20	☆AST-C10
■アンプ部		
定格出力 (6Ω/EIAJ)	50W＋50W	35W＋35W
全高調波歪率(20W/6Ω, 1kHz)	0.06%	0.06%
グラフィックイコライザー		
中心周波数	100Hz, 500Hz, 2kHz, 10kHz	100Hz, 500Hz, 2kHz, 10kHz
可変幅	±8dB	±8dB
入力感度 (AUX)	300mV	300mV
ヘッドホン出力(8Ω)	120mV	120mV
■チューナー・タイマー部		
受信周波数範囲		
TV	1～62cH	1～62cH
FM	76.0MHz～90.0MHz	76.0MHz～90.0MHz
AM	522kHz～1629kHz	522kHz～1629kHz
タイマー	1日1回60分	1日1回60分
スリープ	3時間45分(Max)	3時間45分(Max)
■カセットデッキ部		
録音・再生周波数特性	40Hz～15kHz(クロームテープ)	40Hz～15kHz(クロームテープ)
S/N比	65dB(DOLBY ON)	65dB(DOLBY ON)
■CDプレーヤー部		
周波数特性	5Hz～20kHz	5Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	90dB以上	90dB以上
CD出力レベル	2V	——
フィルター	16bitデジタルフィルター＋3次アクティブフィルター	16bitデジタルフィルター＋3次アクティブフィルター
■スピーカー部	(AST-SC20)	(AST-SC10)
型式	2Way ASタイプ、※防磁型(EIAJ)	フルレンジASタイプ
スピーカーユニット		12cmポリプロピレンコーンタイプ(JA1268)
ウーファー	12cmポリプロピレンコーンタイプ(JA1267)	——
ツィーター	3cmコーンタイプ(JA05P6)	——
クロスオーバー周波数	5kHz	——
出力音圧レベル	90dB/W/m	87dB/W/m
再生周波数帯域	40Hz～20kHz	40Hz～18kHz
■総合		
電源電圧	AC100V, 50/60Hz	AC100V, 50/60Hz
消費電力	115W	95W
外形寸法(W×H×D)		
本体	300×268×294mm	300×268×276mm
スピーカー(1個分)	150×217.5×242mm	150×217.5×242mm
重量		
本体	8kg	7.4kg
スピーカー(1個分)	2.5kg	2.3kg
付属品		
本体に付属	リモコン(VH15910) ×1	リモコン(VH15910) ×1
	単4乾電池(UM4/R03) ×2	単4乾電池(UM4/R03) ×2
	ループアンテナ ×1	ループアンテナ ×1
	FM/テレビアンテナ線 ×1	FM/テレビアンテナ線 ×1
スピーカーに付属	スピーカー取付金具 ×2	スピーカー取付金具 ×2
	ネジ ×4	ネジ ×4
	スピーカーコード(コネクター付き) ×2	スピーカーコード(コネクター付き) ×2

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※AST-SC20の場合

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

（右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。）

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■お客様ご相談窓口

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内
北海道営業所 TEL(011)512-6115

仙　台 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F
東北営業所 TEL(022)223-3101

東　京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
特販営業所 TEL(03)255-1825
首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691
首都圏第二営業所 TEL(03)255-5691
神田営業所 TEL(03)255-6767
販売二課 TEL(03)255-2302

新　潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル
北関東営業所 TEL(025)241-2084

千　葉 〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F
千葉営業所 TEL(0472)47-6622

神奈川 〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内
神奈川営業所 TEL(044)434-4871

浜　松 〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内
浜松営業所 TEL(0534)71-1207

名古屋 〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内
中部営業所 TEL(052)782-7551
販売二課 TEL(052)782-7551

大　阪 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内
関西営業所 TEL(06)647-6411
日本橋営業所 TEL(06)647-6411
中央営業所 TEL(06)647-6411
販売二課 TEL(06)647-6411

広　島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内
中国営業所 TEL(082)244-3745

九　州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
九州営業所 TEL(092)472-2131

本　社 〒430 浜松市中沢町10-1
ホームエレクトロニクス事業本部
お客様ご相談センター TEL(0534)60-3421

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点
（電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口）

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内
TEL(011)513-5036

仙　台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(022)236-0249

東　京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

新　潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL(025)243-4321

浜　松 〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内
TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230

大　阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262

四　国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内
TEL(0878)22-3045

広　島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL(082)874-3787

九　州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

ヤマハ株式会社
〒430 浜松市中沢町10-1
ホームエレクトロニクス事業本部
国内販売統括部 TEL.(0534)60-3421
生産管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

VH48860-0